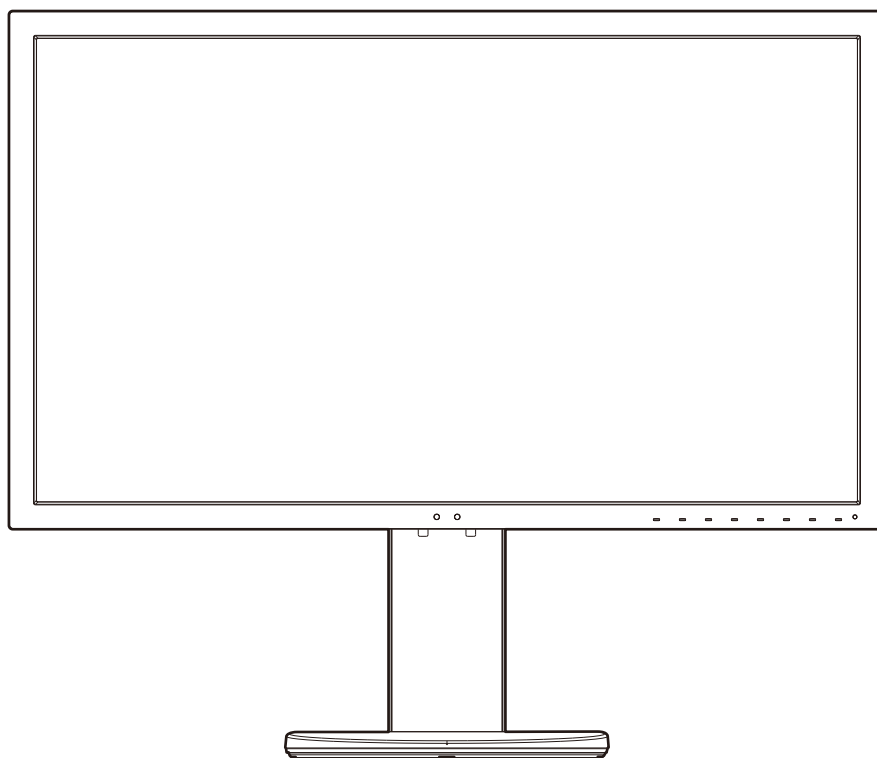


# 取扱説明書



マルチシンク液晶ディスプレイ

**MultiSync PA271Q**

MODEL: PA271Q-BK

# 目次

---

安全のために必ず守ること .....	日本語 -1
ご使用前に .....	日本語 -5
何ができるの? .....	日本語 -5
本書の見かた .....	日本語 -6
各部の名称 .....	日本語 -8
本体正面 .....	日本語 -8
本体背面 .....	日本語 -9
スタンドのロックを解除する .....	日本語 -10
接続 .....	日本語 -11
設置について .....	日本語 -11
接続方法について .....	日本語 -11
接続する .....	日本語 -12
ヘッドホンの接続 .....	日本語 -16
機能 .....	日本語 -17
ピクチャーモード機能 .....	日本語 -17
USB-C ポートの機能 .....	日本語 -18
パワーマネージメント機能 .....	日本語 -19
画面調節 (OSD 機能) .....	日本語 -20
LAN コントロール .....	日本語 -28
LAN コントロール機能 .....	日本語 -28
スタンドアローンキャリブレーション .....	日本語 -30
スタンドアローンキャリブレーション機能 .....	日本語 -30
USB メモリーを使用したインポート / エクスポート、ファームウェア更新 .....	日本語 -32
USB メモリーを使用したインポート / エクスポート、ファームウェア更新機能 .....	日本語 -32
困ったとき .....	日本語 -33
故障かな?と思ったら... .....	日本語 -33
本機を廃棄するには (リサイクルに関する情報) .....	日本語 -37
保証とアフターサービス .....	日本語 -37
付録 .....	日本語 -38
市販のアームを取り付けるとき .....	日本語 -38
用語解説 .....	日本語 -39
仕様 .....	日本語 -41




# 安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
--	--	---	--------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	▲ 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

# 警告

## 万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜きディスプレイを安全な場所に移動する！！

異常のまま使用すると、ディスプレイの落下・火災・感電・火傷の原因となります。  
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、ディスプレイを安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。



地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。  
転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。

**故障（画面が映らないなど）や煙、異常な発熱、変な音・においがするときは使わない**

使用禁止

火災・感電・火傷の原因となります。

**ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は使わない**

使用禁止

そのまま使用すると、ディスプレイが落下してけがの原因となります。

**裏ぶたを外さない**

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。

**電源コードを傷つけない**

傷つけ禁止

熱器具のそば  
やぶれ  
下敷き  
コードをひっぱる

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因となります。

**傾斜面や不安定な場所に置かない**

禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

**異物をいれない**  
特にお子さまにご注意

禁止

火災・感電の原因となります。

**キャビネットを破損したときは使わない**

使用禁止

火災・感電の原因となります。

**風呂場や水のかかるところに置かない**

水ぬれ禁止

水などがディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。

**アースリード線を挿入・接触しない**

禁止

電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。

**正しい電源電圧で使用する**

指示

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。  
一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外で使用しないでください。  
本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。

**修理・改造をしない**

修理・改造禁止

けが・火災・感電の原因となります。

**ポリ袋で遊ばない**

禁止

特にお子さまにご注意  
本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。

**雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない**

接触禁止

感電の原因となります。

**液晶を口にしない**

警告

液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因となります。  
万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類についた場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

# ⚠️ 注意

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

ディスプレイや置き台には乗らないでください。

また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。



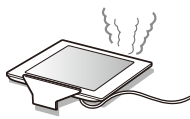
禁止

狭い所に置かない



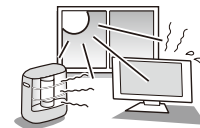
設置禁止

おお向けや横倒し、さかさまにしない



禁止

直射日光や熱器具のそばに置かない



設置禁止

布などで通風孔をふさがない



禁止

車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因となることがあります。



禁止

振動の多い所に置かない

縦型で使用した時、色ムラの原因となることがあります。



禁止

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない



設置禁止

屋外での使用禁止



屋外での使用  
禁止

本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。

液晶パネルに衝撃を加えない

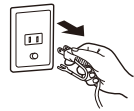
破損してけがや故障の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグを持つ

お手入れの際は電源プラグを抜く

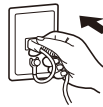
感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

電源プラグを奥までさしこむ

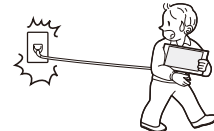
しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。



しっかりと差し込む

電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない

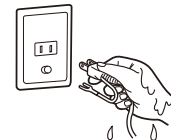
火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや機器間の接続線を外したことを確認のうえ、移動してください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

液晶ディスプレイを移動または設置する場合

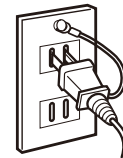
移動や設置の際は十分な安全を確保できる人数でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。



ケガに注意









アース線を接続する

本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき2芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。


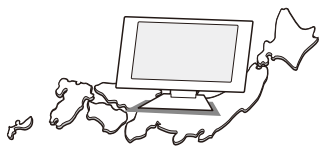






アース線を接続せよ

# ⚠ 注意

<p><b>1年に一度は内部掃除を</b> 内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>   <p>内部掃除</p>	<p><b>スタンドに手や指をはさまない</b> スタンド調節時または市販のアーム取り付け時に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。</p>  <p>手の挟みこみに注意</p>
<p><b>電源プラグのほこりなどは定期的取る</b> 火災の原因となることがあります。1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。</p>   <p>ほこりを取る</p>	<p><b>スタンドまたは市販のアームを取り付ける場合</b> 市販のアームを取り付ける際は本機を支えるのに十分なものをご使用ください。アームまたはスタンドを取り付ける際は指定のネジを使用し、しっかり締めてください。液晶ディスプレイの転倒または落下の原因となることがあります。</p>
<p><b>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</b></p>   <p>プラグを抜く</p>	
<p><b>推奨の溶剤でお手入れする</b> キャビネットおよびスタンドの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。)また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となります。 パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合はイソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等がディスプレイ内部に入ったり表示面以外のディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊するおそれがありますのでご注意ください。</p>  <p>使用禁止</p>	

## ディスプレイの上手な使い方

<p><b>日本国内専用です</b> この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。</p>  <p>国内専用</p> <p>For use in Japan only</p>  <p>This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>	<p><b>キャビネットのお手入れ</b> お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。溶剤をご使用の際は「推奨の溶剤でお手入れする」にて使用できる溶剤をご確認ください。</p>  <p>プラグを抜く</p>   <p>中性洗剤</p>
<p><b>上手な見方</b> 画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れやすくなるので、適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れたり視力が低下することがあります。疲れを感じた場合は目を休ませてください。</p>	<p><b>液晶パネルのお手入れ</b> パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。溶剤をご使用の際は「推奨の溶剤でお手入れする」にて使用できる溶剤をご確認ください。</p> 

### ⚠ 重要なお知らせ

#### 残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

# ご使用の前に

## 何ができるの？

### 正確な色再現を実現したい

本機に搭載されたSpectraViewエンジンと工場個別調整された光学データにより、多彩で正確な色再現をおこなうことができます。

- **ピクチャーモード(→P17)**
- **MultiProfiler対応**  
ピクチャーモードの設定などをコンピューターでおこなうことができるソフトウェアです。エミュレーション(→P21)の設定もおこなうことができます。MultiProfilerは弊社インターネットホームページよりダウンロードしてお使いください。
- **スタンドアロンキャリブレーション(→P30)**

### ディスプレイを使いやすくカスタマイズしたい

タッチキーにお好みの機能を割り当てたり、特定のピクチャーモードでLEDの色を切り替えるなどのカスタマイズをおこなうことができます。

- **ホットキー設定(→P26)**
- **電源ランプ設定(LED設定)(→P26)**

### 複数のコンピューターを使いたい

2つの入力信号を同時に表示したり、本機のUSBハブに接続したキーボードやマウスなどの機器を最大3台のコンピューターで切り替えて使用できます。

- **2画面表示機能(→P24)**
- **USBアップストリーム切り替え機能(→P24)**

### USB Type-C(USB-C)機器を接続したい

本機にUSB-C機器を接続して、DisplayPortによる表示、USBハブ機能の使用、USB-PDによる電源供給をおこなうことができます。

- **USB-C機器の接続(→P18)**
- **USB-C設定(→P24)**

### 画面を見やすく設置したい

- **スタンド調節機能(→P15)**

### ディスプレイを効率的に管理したい

- **LAN機能(→P28)**  
本機の設定をネットワークを経由して確認、変更することができます。また、タッチキーの代わりにWebブラウザーを使用して本機の操作をおこなうことができます。
- **インポート/エクスポート機能(→P32)**  
本機にUSBメモリーを接続し、設定内容のコピーやバックアップをおこなうことができます。



## 本書の見かた

### 本書の表記のしかた

**お願い**：取り扱い上、特に守っていただきたい内容

**お知らせ**：取り扱い上、参考にしていただきたい内容

(→PXX)：参考にしていただきたいページ

### 知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」(→P5)

説明の内容から探す→「本書の構成と分類」(→P6)

言葉と意味で探す→「用語解説」(→P39)

### 本書の構成と分類

本書では、本機を安全かつ快適にお使いいただくために、以下のように説明を分類しています。

#### 安全のために必ず守ること(→P1)

万が一の事故を回避するための使用方法に関する注意事項です。

#### ご使用前に(→P5)

ご使用のコンピューターと本機の接続方法によって、お客様が必要となる説明がどこに記載されているのかを把握していただくための説明です。

#### 各部の名称(→P8)

後に続く「接続」や「画面設定」などの説明に際して、本機の各部の名称とその位置を把握いただくための説明です。

#### 接続(→P11)

ご使用のコンピューターと本機を接続して使用するまでに必要な手順を説明しています。

#### 機能(→P17)

本機に装備された機能で、OSD機能以外の機能についての説明をしています。

#### 画面調節(OSD機能)(→P20)

画面の調節やOSD機能の設定をする際の手順や各機能について説明しています。

#### 困ったとき(→P33)

故障の疑いがあるなど、困ったときの対処方法などを説明しています。

#### 付録(→P38)

用語の解説などを掲載しています。



この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

## ⚠ 注意

添付のケーブルを使用してください。

DisplayPort、Mini-DisplayPort、HDMI、USB、USB-C、LANはシールドタイプを使用してください。

これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

TCOに認証された当社の液晶ディスプレイの一覧表と該当するTCO Certification(英語のみ)は、当社ホームページ

<https://jpn.nec.com/products/ds/display/tco/index.html>をご覧ください。



グリーンマーク

JIS C 0950(通称J-Moss)とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク：特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク：同化学物質が含有率基準値以下(但し除外項目あり)である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<https://www.nec-display.com/jp/environment/j-moss.html>をご覧ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

AdobeおよびAdobeロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

MultiSync®は、NECディスプレイソリューションズ株式会社の米国およびその他の国における登録商標です。

DisplayPortおよびDisplayPortロゴは、Video Electronics Standards Associationの米国

その他の国における商標または登録商標です。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国にお

けるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。

ただし、HDCPの規格変更などがおこなわれた場合、ディスプレイが故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 取扱説明書は「保証書」・セットアップマニュアルと共に大切に保管してください。
- この取扱説明書は日本国内専用です。

## お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。

これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は0.00020%以下です。

本製品は、ISO 9241-307基準に従い、ドット抜けの割合基準値は1サブピクセル(副画素)単位で計算しております。

【注】 一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO 9241-307に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixels)」となります。

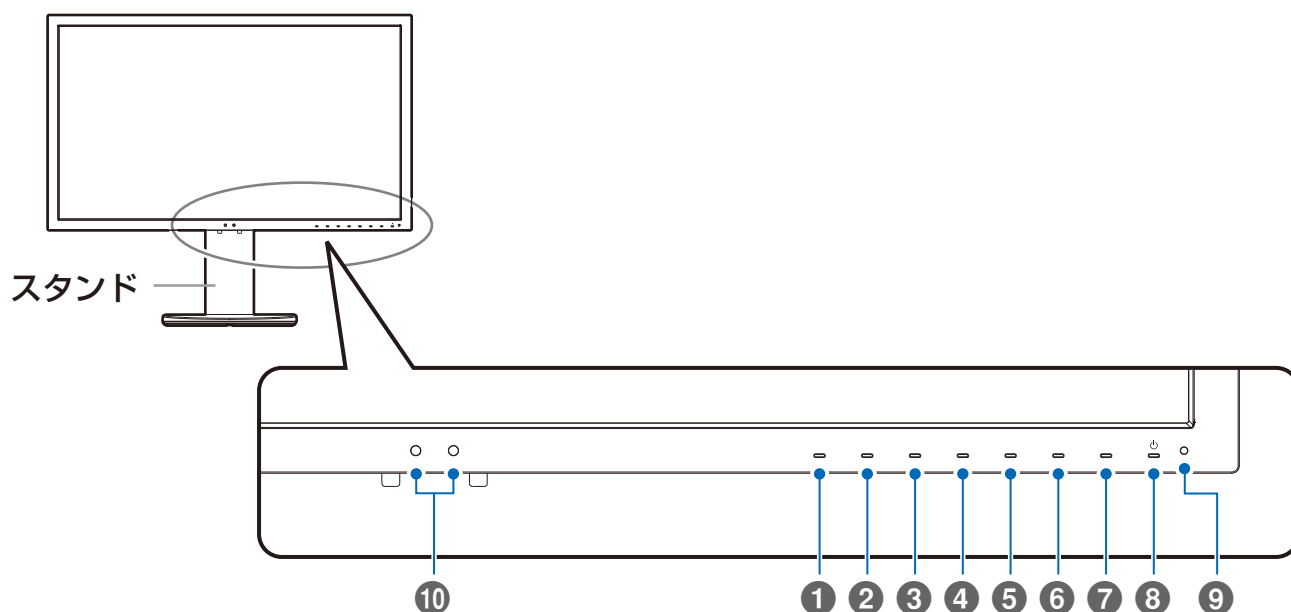
つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

**HDMI**<sup>®</sup>  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE



# 各部の名称

## 本体正面



タッチキーに指を近づけるとキーガイドが表示されます。

### ① Key1 メニュー(Menu)

OSD画面を表示します。

### ② Key2 ピクチャーモードリスト(Pic.L)

ピクチャーモードメニューを表示します。<sup>\*1</sup>

### ③ Key3 輝度(Lumi)

輝度を調節します。

### ④ Key4 音量(Volume)

音量を調節します。

### ⑤ Key5 マルチピクチャー (Mult.P)

マルチ画面設定を有効にします。

### ⑥ Key6 入力(Input)

アクティブ画面に設定されている画面の信号コネクタを選択します。

### ⑦ Key7 USBハブ入力選択 (USB)

USBアップストリーム入力の選択画面が表示されます。USBアップストリームの選択は、入力信号を切り替えたり、電源を切るとOSDメニューでの設定に戻ります。

### ⑧ Key8 パワー(Power)

電源をオン/オフするときに押します。

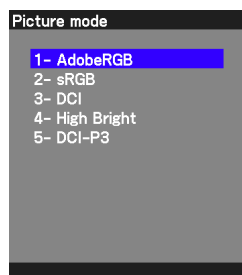
### ⑨ 電源ランプ

電源を入れたとき電源ランプは青色に点灯します。パワーマネジメント機能の作動中は橙色に点灯します。

### ⑩ センサー

周囲の明るさや本機の正面に在席していることを検知するセンサーです。機能使用時には障害物の陰にならないよう注意してください。

\*1: ピクチャーモードメニュー

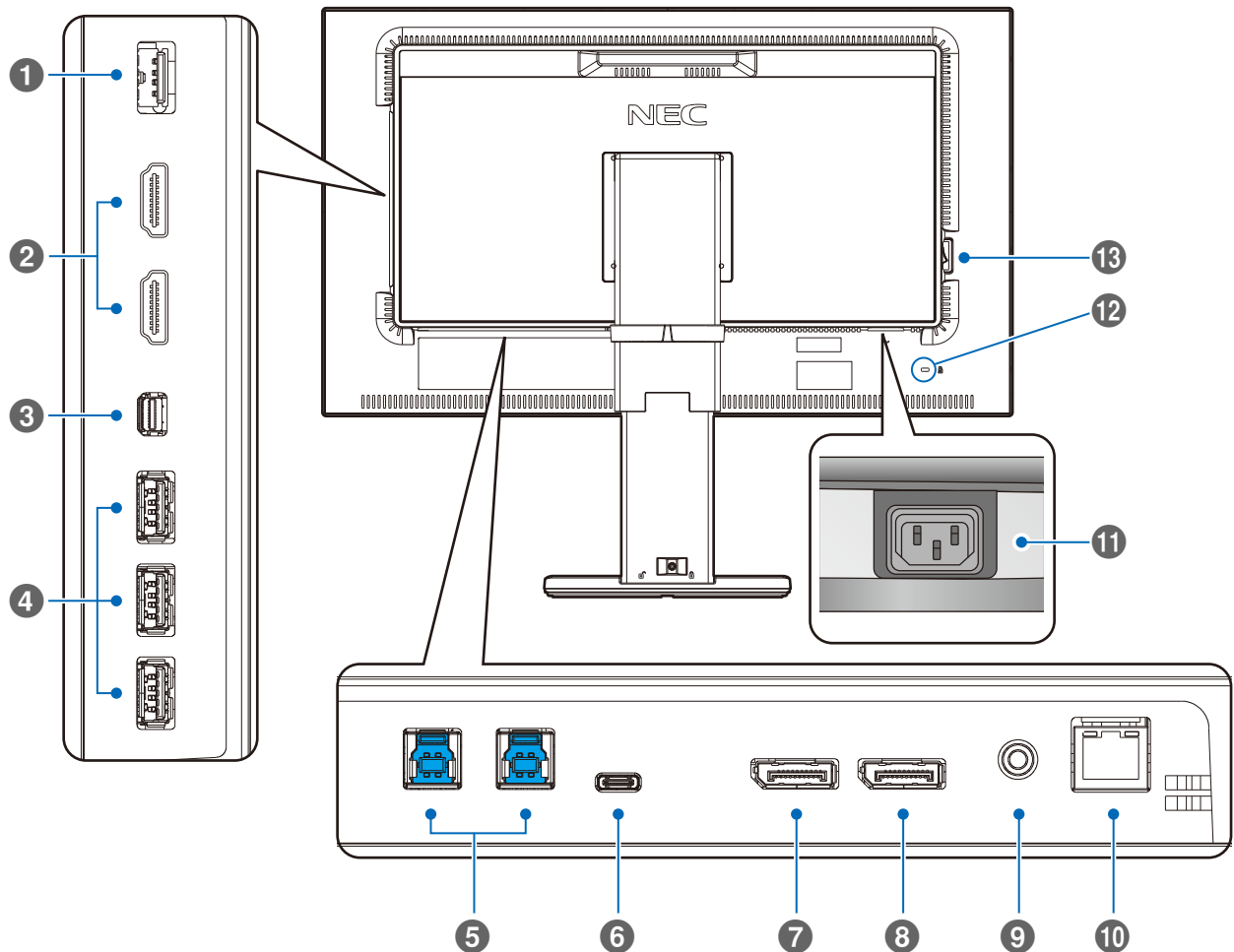


上下キーでピクチャーモードを選択します。

## お知らせ

- 各キーによる詳しいOSD画面の操作については「画面調節 (OSD機能)」(→P20)をご覧ください。
- タッチキーに割り当てる機能はカスタマイズすることができません(→P26)。

## 本体背面



### ① SENS/MEM ポート

USB カラーセンサーまたはUSB メモリーを接続します。

#### お知らせ

- USB 対応周辺機器接続用ポートではありません。

### ② HDMI 入力コネクタ

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

### ③ Mini-DisplayPort 入力コネクタ

デジタル映像インターフェースの DisplayPort 規格に準拠した機器と接続します。

### ④ USB ダウンストリームポート (USB Type-A)

周辺機器接続用 USB ポートです。  
USB 規格に準拠した機器と接続します。

### ⑤ USB アップストリームポート (USB Type-B)

コンピューター接続用 USB ポートです。

### ⑥ USB-C ポート

USB Type-C 規格に準拠したコンピューターと接続します。

### ⑦ DisplayPort 入力コネクタ

デジタル映像インターフェースの DisplayPort 規格に準拠した機器と接続します。

### ⑧ DisplayPort 出力コネクタ

他のディスプレイの DisplayPort 入力コネクタと接続します。  
本機の DisplayPort または USB-C の映像信号を出力します。

### ⑨ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続して使用できます。

### ⑩ LAN ポート (RJ-45)

LAN ケーブルを接続し、LAN コントロール機能 (→P28) を使用します。

### ⑪ 電源入力コネクタ

電源コードを接続します。

### ⑫ セキュリティスロット

セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。  
製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。  
<http://www.kensington.com/>

### ⑬ 主電源スイッチ

主電源をオン/オフするときに押します。 | : オン ○ : オフ

#### お願い

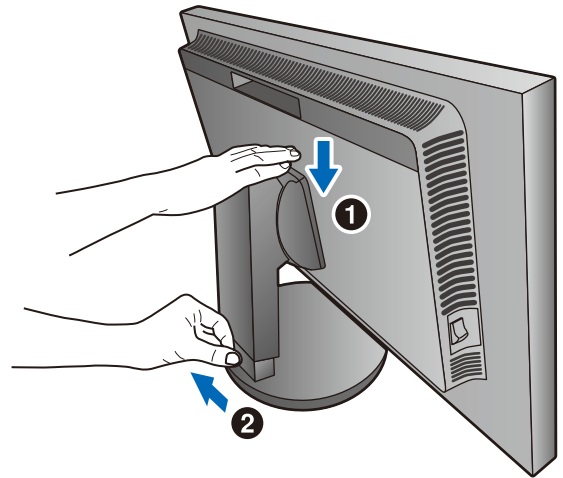
- 電源を短時間にひんぱんにオン/オフしないでください。  
故障の原因になります。

## スタンドのロックを解除する

スタンドを一番下まで押し下げた状態で、スタンド下部のロックボタンを後ろから見て左方向に動かします。

### お知らせ

開梱したとき、スタンドは所定の位置でロックされています。  
スタンドを一番下まで押し下げた状態で、スタンド下部のロックボタンを後ろから見て左側に動かすことでロックが解除されます。



# 接続

---

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は付属品シートを参照ください。  
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご確認ください。

## 設置について

本機を使用する場所に設置してください。

## 接続方法について

本機の信号入力コネクタは、デジタル信号(DisplayPort)(Mini-DisplayPort)(HDMI)(USB-C)に対応しています。  
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号入力コネクタに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。

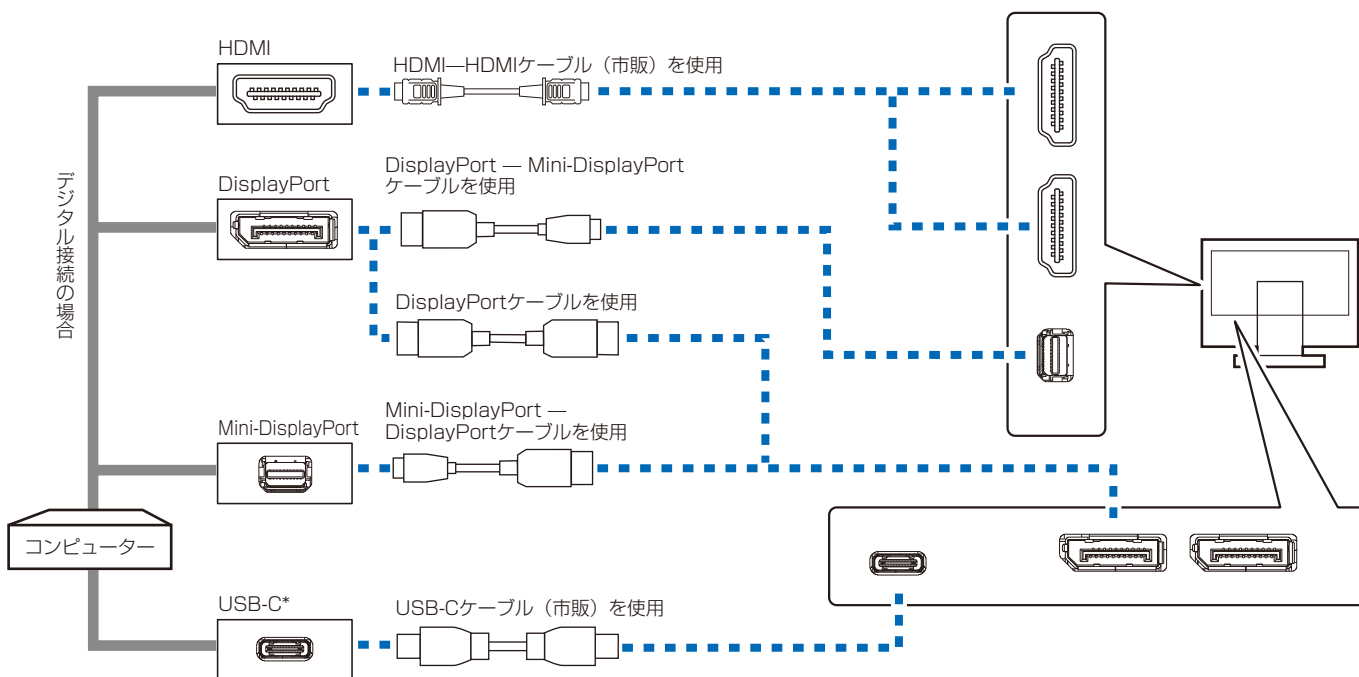
## 接続する

### お願い

- 接続の前にスタンドのロックを外し、本体を一番上まで上げてください。
- Mini-DisplayPortケーブルおよびDisplayPortケーブルは付属品をご使用ください。
- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- 取り扱いの際にLCDパネル表面に強い力がかからないようにしてください。

### 1 信号ケーブルを接続する

信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。



※ コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

※ 一部の機器では映像が出ないなど、正常に動作しない場合があります。

※ 市販の変換アダプターやケーブルをご使用の際は接続されるコンピューターのコネクター形状にあったものをお買い求めください。

※ DisplayPortケーブル（添付品）にはロックが付いています。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクター上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。

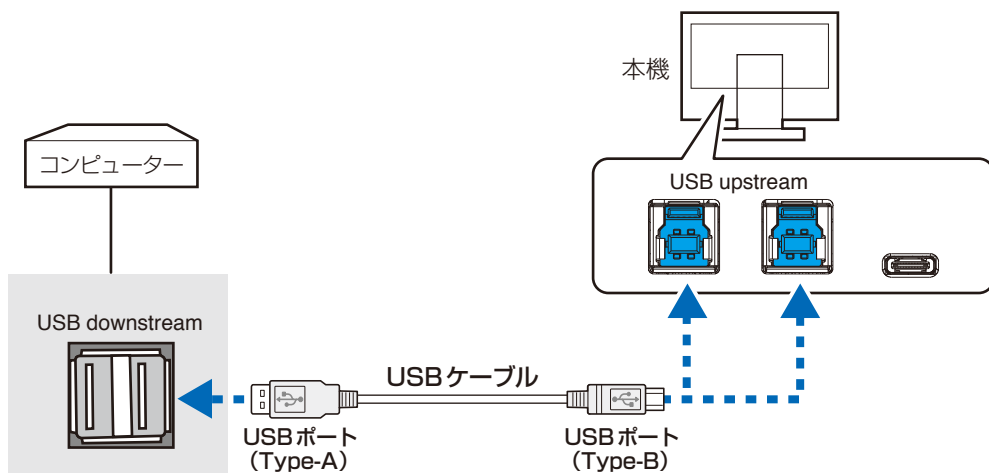
※ HDMI規格に準拠した機器およびケーブル（市販）を接続してください。

\* USB-C

- USB Type-C 機器とケーブルの動作確認情報を当社ホームページで提供しています。
- 安定動作のため、USB Type-C ケーブルは動作確認済ケーブルのご使用をおすすめします。

## 2 USBケーブルを接続する

- 1 USBケーブルのUSBポート(タイプB)を本機のUSBアップストリームポートにしっかり差し込む
- 2 USBケーブルのUSBポート(タイプA)をコンピューターのダウンストリームポートに差し込む



### お願い

- USBケーブルのコネクターの形状および向きをよく確かめてから接続してください。

### お知らせ

- 本機はUSB3.1 Gen1に対応しています。USB2.0またはUSB1.1で接続した場合の最大転送速度は、それぞれの規格値となります。

- ※ USBケーブルのコネクタ形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- ※ USB機能は使用するコンピューターのBIOSやOS、周辺機器によっては動作しない場合があります。この場合は、まず各使用機器の取扱説明書を確認するか、各機器のメーカーにお問い合わせください。
- ※ 本機の電源スイッチをオフにしたり、USBアップストリームを切り替える場合には、事前に本機に接続したUSB機器を停止させてください。一部のUSB機器の場合、この操作をおこなわないと機器の破損やデータの消失の原因になる場合があります。
- ※ 本機がコンピューターに認識されるまでに数秒程度必要です。認識される前にUSBケーブルを引き抜いたり、短時間での抜き差しを繰り返したりしないでください。しばらくたっても本機がコンピューターに認識されない場合は、本機の電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。

### ⚠ 注意

USBケーブルは束ねて(丸めて)固定せずに使用してください。ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。



### 3 電源を接続する

#### お知らせ

- 画面を上方に傾けたほうがケーブル類の接続が簡単におこなえます。

#### お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。
- スタンドを上げた状態でケーブル類をスタンドのケーブルホルダーにかけてください。設置後にスタンドを上げた際に必要となるケーブルの長さが確保されます。

#### 1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む 奥までしっかりと差し込んでください。

#### お願い

- 本機の角度を変えても、電源コードが外れないことを確認してください。

#### 2 電源コード、ケーブル類をケーブルホルダー内に収める

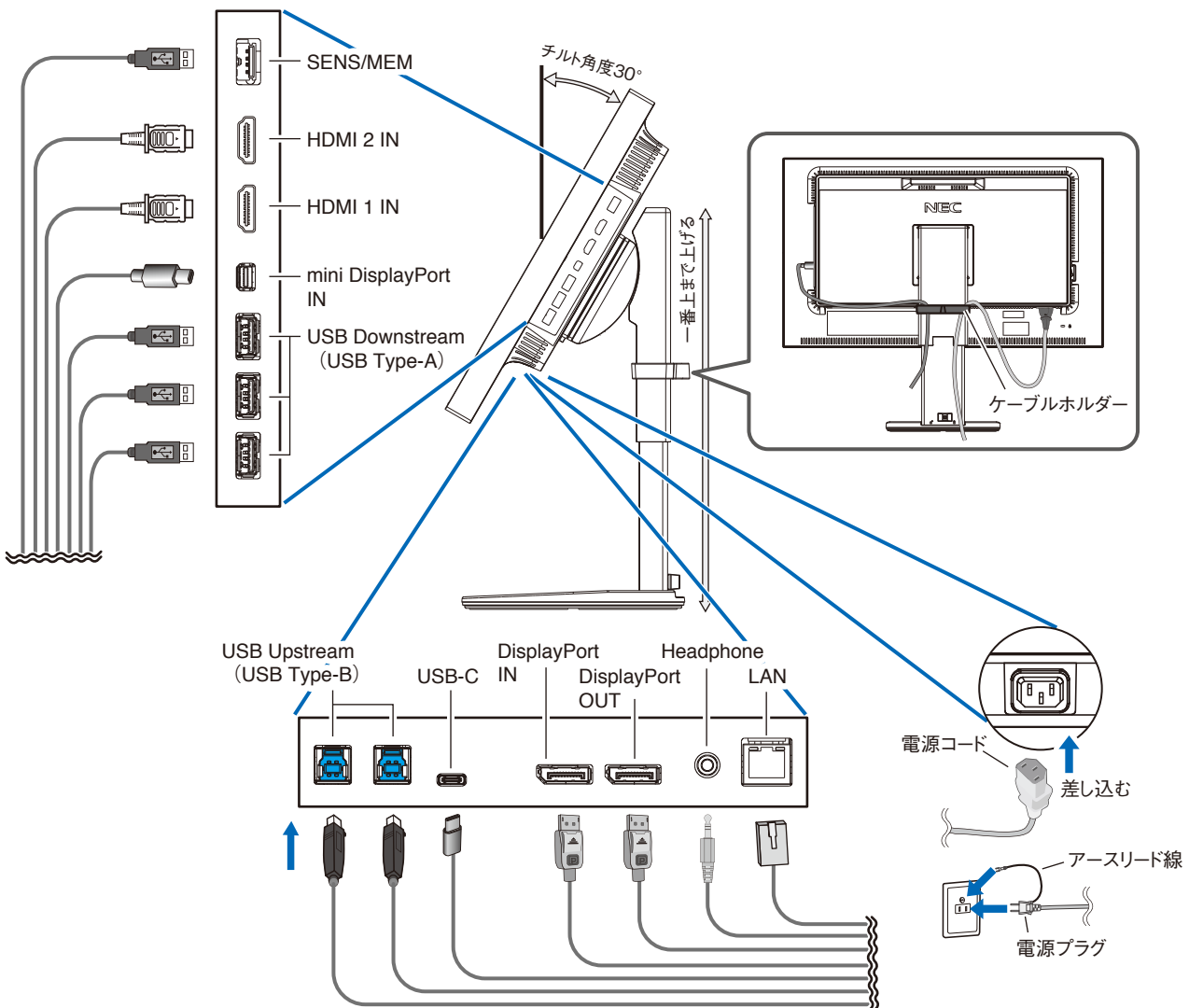
※ケーブルマネジメントをご使用にならない場合はこれらの作業は不要です。

#### お願い

- ケーブル類はケーブルホルダーに確実に入れ、また均等に収めるようにしてください。
- 画面を前後に動かし(→P15)、ケーブル類に十分な余裕があることを確認してください。ケーブル類のたわみが不十分な場合は、ケーブルの断線などが発生する原因となります。

### 3 アースリード線を接地(アース接続)する

#### 4 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する



#### お知らせ

- SENS/MEMポート、DisplayPort出力コネクタはキャップを外してご使用ください。

**警告**

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外で使用しないでください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず接地(アース)してください。  
なお、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。  
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

**お願い**

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

**4 設置と調節****1 本機を使用する場所に設置する****2 本機の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れる****お知らせ**

- 最適な解像度以外の信号を入力している場合、文字がにじんだり、図形が歪んだりして表示される場合があります。コンピューター本体の解像度を2560×1440に合わせてください。(→P42)

**3 USBの認識**

USBハブの接続がコンピューター側で検出され、USBハブ用のデバイスドライバーが自動的にインストールされます。コンピューターによっては、接続してもUSBハブと検出されない場合があります。その場合は画面に表示されるメッセージに従って、USBハブ用のデバイスドライバーをインストールしてください。

**お願い**

- 本機がコンピューターに認識されるまでに数秒程度必要です。認識される前にUSBケーブルを引き抜いたり、瞬間的な抜き差しを繰り返したりしないでください。

**4 高さと角度を調節する**

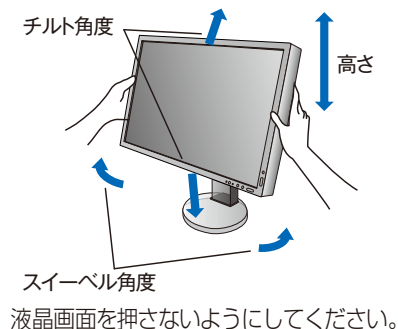
お好みに合わせて本機の高さと角度を調節してください。  
右図のように見やすい角度および高さに調節します。

**お願い**

- 角度および高さ調節時にケーブル類に負荷がかからないよう、十分な余裕があるかどうかを確認してください。

**注意**

角度および高さ調節時に、指をはさまないように気をつけてください。  
けがの原因となることがあります。

**5 縦型に回転する**

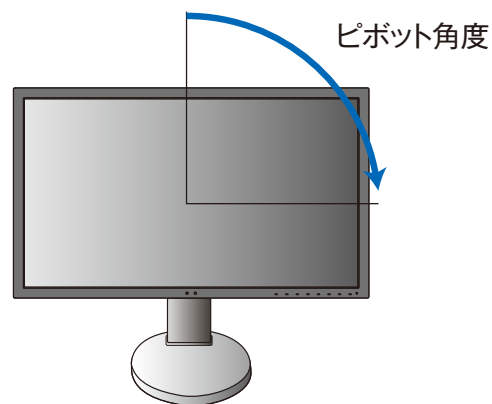
縦型で表示する場合、ケーブル類を取り外した状態で本機を一番高い位置までスライドし、画面を上方に傾けます。本機の両端をしっかりと持ち、縦型にする場合は時計回り、横型に戻す場合は反時計回りに回転します。本機を回転する場合は必ず図の向きに回転してください。本機のピボット角度は図のとおりです。

**注意**

- 本機を回転させる場合は必ず電源コード、信号ケーブルを外してからおこなってください。  
外さずに回転すると、ケーブル類が引っ張られ、ケーブルホルダーが破損するおそれがあり、けがの原因となることがあります。
- 本機を回転する場合は、必ず本機を一番高い位置までスライドし、画面を上方に傾けてください。低い位置のまま回転すると、指を挟むなど、けがの原因となることがあります。また、机にぶつけるなど、事故の原因となることがあります。

**お知らせ**

- 縦型表示を実行するためには、縦型表示に対応しているビデオカードが必要です。



## ヘッドホンの接続

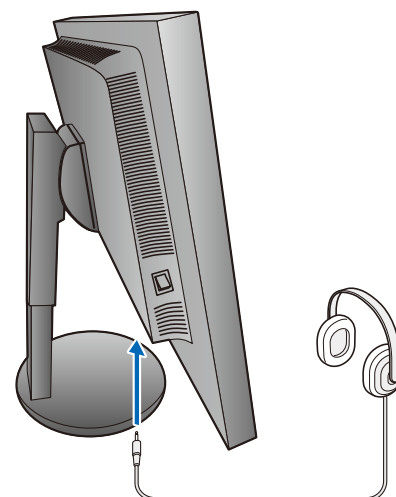
本機のヘッドホン端子(→P9)にヘッドホンを接続して使用できます。

### ⚠ 注意

ヘッドホンを装着したまま接続しないでください。  
音量によっては耳を傷める原因となることがあります。

### お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、オーディオショップなどで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。

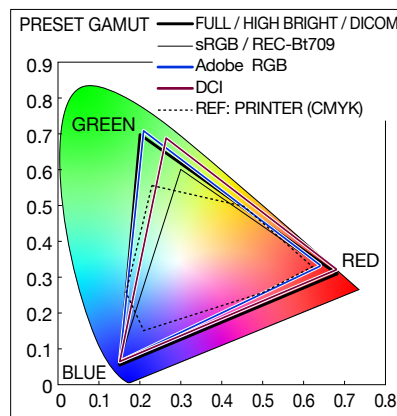
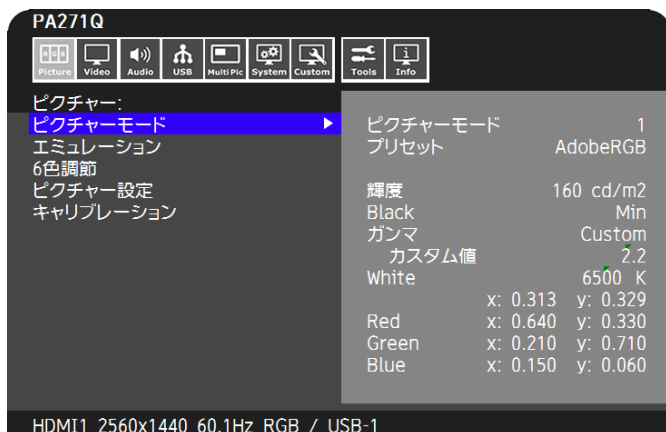


# 機能

## ピクチャーモード機能

表示する画像やコンピューターの設定に応じて、最大 10 個の画質設定を切り替えることができます。また、マルチピクチャー機能使用時はそれぞれの画面に独立したピクチャーモードを設定できます。

本機には以下の代表的な色空間が設定されており、プリセット (→P21) として各ピクチャーモードに割り当てられています。プリセットの割り当てや詳細な画質設定も変更できます。



ピクチャーモードのプリセット一覧

プリセット	目的
sRGB	Windows® の標準色空間です。インターネットや動画の表示など一般的なコンテンツの表示に適した設定です。
Adobe RGB	米国アドビシステムズが提唱している sRGB よりも広い色空間です。印刷物の再現性に優れ、カラーマネジメント環境で推奨されています。
eciRGB_v2	ヨーロッパの印刷業界で用いられる色空間です。
DCI-P3	デジタルシネマに用いられる設定です。
Rec.709	HDTV 放送に用いられる設定です。
Rec.2100(HLG)	UHD 放送などの HDR 映像に適した設定です。
Rec.2100(PQ)	UHD パッケージコンテンツやインターネット動画配信サービスなどの HDR 映像に適した設定です。
High Bright	最も高輝度な表示が可能です。
Low Blue	画面から発光されるブルーライトを低減し、目に優しい表示をおこないます。紙の見え方に近い設定です。
Full	色空間の補正をおこなわず、液晶パネルの特性で表示します。
DICOM	X 線画像の表示など医用画像の参照に適した画質設定です。
Programmable	MultiProfiler などの対応アプリケーションで使用します。対応アプリケーションで名前を変更できます。

### お知らせ

- ピクチャーモードごとに、エミュレーションや 6 色調節の設定も保存されます。
- コンピューターのカラー設定 (ICC プロファイル) とピクチャーモードの設定が異なる場合は正しい色再現性が得られません。
- 高度な画質設定や ICC プロファイルの自動設定をおこなう「MultiProfiler」アプリケーションの使用をおすすめします。
- 本機は工場出荷時に一台一台画質調整されていますが、お手持ちのカラーセンサーを基準としてキャリブレーションをおこなうこともできます (→P30)。
- 編集をおこなったピクチャーモードには "\*" マークが付きます。

## USB-C ポートの機能

本機のUSB-Cポートは以下の機能に対応しています。一本のケーブルで最大3種類の機能を同時に使用できますが、実際に動作する機能はUSB-Cポートに接続した機器の仕様により異なります。

動作している機能は、OSDの「USB情報(→P27)」で確認できます。「---」が表示されている機能は使用できません。



映像/音声入力： DisplayPortの入力(DisplayPort Alt Mode on USB Type-C)に対応しています。RGB10bit表示やDisplayPortによるマルチストリーム(→P23 [DP out multistream])にも対応しています。

### お知らせ

- 接続するUSB Type-C機器がDisplayPort Alt Mode on USB Type-C規格に対応している場合に動作します。
- 本機能を使用する場合は、USB3.1 Gen1もしくはGen2に対応しているUSB Type-Cケーブルを使用してください。

電力供給(→P24)：接続した機器の充電をおこなうことができます。(USB Power Delivery)

### お知らせ

- 接続するUSB Type-C機器がUSB Power Delivery規格に対応している場合に動作します。
- 最大30Wの供給に対応(→P24)しますが、接続した機器の状態などにより実際の電力は変化します。供給している電圧、電流の情報はOSDで確認できます(→P24)。接続した機器がUSB Power Delivery規格に対応していない場合、もしくは正しく認識されない場合は「---」が表示されますが、接続した機器やケーブルの種類によりUSB Type-C規格に基づく電力を供給することがあります。
- USB Power Deliveryの認証を取得しているUSB Type-Cケーブルを使用してください。

USBハブ機能： 本機のUSBダウンストリームポートに接続しているUSB機器を利用できます。

### お知らせ

- 接続した機器がUSB3.1 Gen.1に対応している場合でも、USB-Cポートで表示する映像信号が以下の場合はUSB2.0で接続されることがあります。また、USB3.1 Gen.1とUSB2.0が切り替わる時にUSBハブが一時的に切断されます。本機のダウンストリームポートにUSBメモリーなどを接続している場合は、以下の表示をおこなう前に一度取り外してください。
  - マルチストリームによる表示をおこなう場合(→P23)
  - 本機の推奨信号タイミングを超える映像信号を表示する場合(→P42)

### お知らせ

- USB Type-C機器とケーブルの動作確認情報を当社ホームページで提供しています。
- 安定動作のため、USB Type-Cケーブルは動作確認済ケーブルのご使用をおすすめします。

## パワーマネジメント機能

本機の電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

モード	電源ランプ	消費電力	状態
通常動作時(最大輝度時)	青色点灯	約60W	通常使用時(バックライト点灯時)
パワーセーブモード時	橙色点灯	約10W	映像信号がない状態で一定時間経過し、以下の状態のどれかを満たした場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ USB アップストリームポートに機器を接続している</li> <li>・ 「クイックリカバリー」設定が「オン」になっている</li> <li>・ 「DP out multistream」設定が「MST」になっている</li> </ul>
	暗い橙色点灯	2W	ネットワーク信号があり、映像信号がない状態で一定時間経過した場合
	暗い橙色点灯(明滅)	0.5W	ネットワーク信号および映像信号がない状態で一定時間経過した場合
電源オフ時	消灯	0.5～約10W	キー等で本機をオフした場合 (パワーセーブモード時の状態により消費電力は変わります)
		0.3W	主電源スイッチで本機をオフした場合

接続した機器やOSDの設定等の状況により消費電力は変わります。

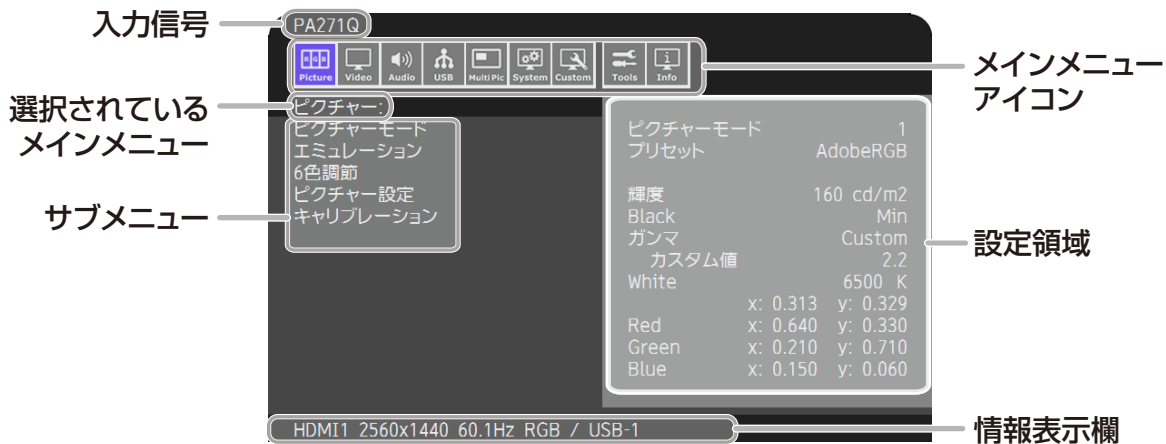
### お知らせ

- この機能はVESA DPM対応パワーマネジメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。
- 通常動作時の電源ランプの色はカスタマイズできます。(→P26)

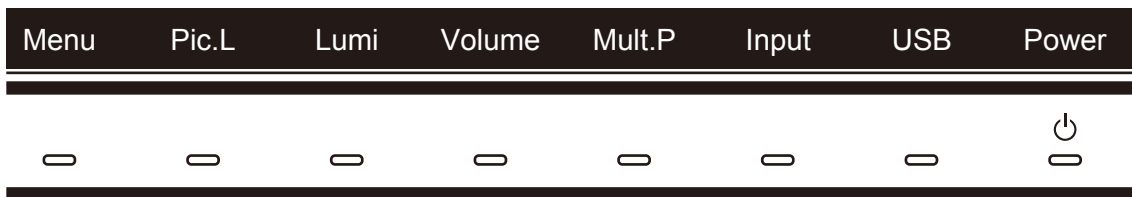
# 画面調節 (OSD 機能)

本機には画面の調節が簡単にできる OSD (On Screen Display) 機能がついています。  
OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節等をおこないます。

**OSD画面の構成** OSD画面は、以下に示すような構成になっています。



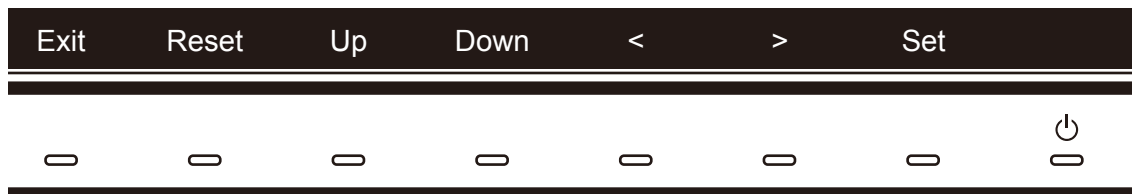
MenuキーをタッチしてOSD画面を表示します。



キーガイドが変わります。

## お知らせ

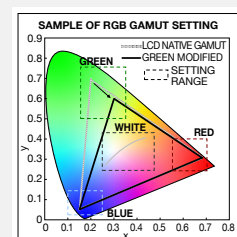
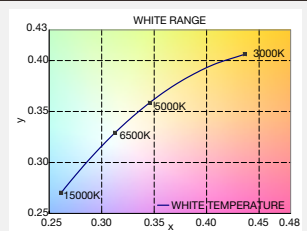
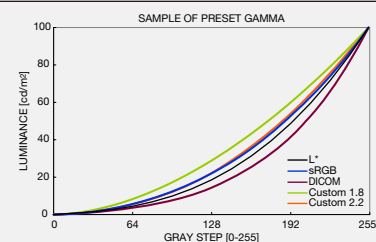
- [Reset] キーをタッチすると選択中の項目の値が工場設定に戻ります。



本機コントロールキー → [Down] または [Up] キーをタッチしてサブメニューを選びます。 → [Set] キーをタッチします。 → [Down], [Up], [<], [>] キーをタッチして選択します。 → [Exit] キーをタッチします。



ピクチャー	
<b>ピクチャーモード</b>	
ピクチャーモード	10種類の画質設定から選択します。
プリセット	代表的な色空間の設定値を呼び出します。
3D LUT Emu.	「3D LUT エミュレーション」を使用時、対応アプリケーションにより設定した名前が表示されます。
輝度	画面の目標輝度を設定します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が黄色に変化します。
Black	画面の黒レベルを設定します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が黄色に変化します。
ガンマ	<p>グレイスケールの見え方など、階調特性を設定します。</p> <p>sRGB : sRGB 用の設定です。</p> <p>L Star : L*a*b* 表示系で使われる設定です。</p> <p>Rec.1886 : HDTV 放送で使われる設定です。</p> <p>Hybrid Log : UHD 放送などのHDR映像に適した設定です。システムガンマ値を設定できます。</p> <p>System gamma : システムガンマ値を0.5-2.0の範囲で設定します。「自動」選択時は、「輝度」で設定した値に応じて自動的に設定されます。</p> <p>ST2084(PQ) : UHDパッケージコンテンツやインターネット動画配信サービスなどのHDR映像に適した設定です。最大輝度値を設定できます。</p> <p>Peak lumi. : ST2084(PQ) 信号が持つ輝度情報のうち、表示を行う最大輝度値を設定します。数値を上げると白飛びが改善されますが、画面が暗くなります。「自動」選択時は、「輝度」で設定した値を最大輝度値として表示します。</p> <p>DICOM : 医用画像の参照に適した設定です。</p> <p>Programmable : 対応アプリケーションにより設定した階調特性を適用します。</p> <p>Custom : 数値によるガンマ設定をおこないます。</p> <p>カスタム値 : 暗くて見えにくい場合は数値を下げ、明るくて見えにくい場合は数値を上げます。</p>
White (K)	白色の色温度もしくはxy座標を設定します。x値を上げると赤味が、y値を上げると緑味が、xy値を両方下げると青味がそれぞれ増加します。Nativeは液晶パネルの白色を表示します。
White (x, y)	
Red(x, y)	表示したい色域をxy色度で設定します。色合いと彩度が変化します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が黄色に変化します。
Green(x, y)	
Blue(x, y)	
<b>エミュレーション</b>	
3D LUT エミュレーション	<p>対応アプリケーションにより、設定した印刷エミュレーションやポストプロダクション向け3D LUTデータの適用をおこなう機能です。</p> <p>オン : 選択中のピクチャーモードに3D LUTデータを反映します。</p> <p>オフ : 3D LUTデータを反映せず、元のピクチャーモードで表示します。</p> <p>比較 : オン/オフの差分をグレーで強調表示します。色域内、色域外の確認ができます。</p>
色覚エミュレーション	異なる色覚特性(P/D/T型)の見え方を擬似的に表現します。Grayscaleは画像のコントラストを確認する機能です。



<b>6色調節</b>	
Red	<p>色相： 6色それぞれ*について色合いを調節できます。</p> <p>彩度： 6色それぞれ*について色の濃さを調節できます。値を大きくすると選択している色が鮮やかになります。</p> <p>明るさ： 6色それぞれ*について明るさを調節できます。値を大きくすると選択している色が明るくなります。</p> <p>※ Red：赤色、Yellow：黄色、Green：緑色、Cyan：水色、Blue：青色、Magenta：紫色</p>
Yellow	
Green	
Cyan	
Blue	
Magenta	
<b>ピクチャー設定</b>	
オートブライトネス	<p>周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節する機能(オートデミング機能)です。正確な色再現が必要な際はオフに設定してください。</p> <p>下図はそのイメージを図にしたものです。</p> <p>Lb: 明暗境界値(固定値)  L1: 明るい環境で輝度を調節したときの室内の明るさを表す値(L1&gt;Lb)  L2: 暗い環境で輝度を調節したときの室内の明るさを表す値(L2&lt;Lb)</p> <p>—— オートデミング機能によるディスプレイの輝度の値</p>
ユニフォミティ	画面の輝度ムラ、色ムラを改善します。大きい値ほどムラは改善されますが、コントラストが低下する場合があります。
エコモード	<p>輝度の最大値を制限することで電源消費量を削減することができます。</p> <p>オフ： 最大値を設定しません。</p> <p>オン： 輝度の最大値を約100cd/m<sup>2</sup>に設定します。</p>
<b>キャリブレーション</b>	
キャリブレーション	USBカラーセンサーを接続してキャリブレーションを開始します。(スタンドアロンキャリブレーション機能)(→P30)
カラースタビライザー	内蔵カラーセンサーを使用して経年による表示色の変化を自動的に抑制します。
メタメリズム	当社製のディスプレイを複数台使用する場合に、視覚的な色のマッチングを改善する機能です。正確な色再現が必要な際はオフに設定してください。

ビデオ	
<b>入力</b>	
入力	表示したい入力コネクタを選択します。DP1 で使用する入力コネクタは「DisplayPort 設定」の「入力選択」で選択します。
<b>DisplayPort 設定</b>	
DPバージョン	DP1 入力の規格を設定します。通常は 1.2 を選択してください。1.1a は互換性を重視した設定です。
DP out multistream	本機と同じ画面を出力したい場合は「SST(シングルストリーム)」を、独立した画面を出力したい場合は「MST(マルチストリーム)」を選択します。DisplayPort 1.1a を選択した場合「SST」に自動的に設定されます。マルチストリームの使用には、マルチストリーム対応のビデオカードが必要です。 <b>お知らせ</b> ● 本設定により USB ハブが一時的に切断されることがあります。その場合は本設定の操作時に確認メッセージが表示されます。USB メモリーなどを接続している場合は取り外してください。
入力選択	DP1 で使用する入力コネクタを「USB-C(USB-C ポート)」または「DP(DisplayPort 入力コネクタ)」から選択します。片方のみ接続した際は自動的に選択されます。
<b>ビデオ設定</b>	
拡大モード	画像の拡大方法を選択します。 アスペクト： 縦横比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。 フル： 比率を変えて、画面いっぱいに表示します。 1:1： 画像サイズそのまま表示します。表示領域を超える部分は表示されません。 ズーム： 拡大率を調節できます。 <b>お知らせ</b> ● 一部の解像度では画面全域には拡大されません。
ズーム	水平/垂直を同時に拡大/縮小します。
オーバースキャン	HDMI 信号の画像表示エリアを選択します。 オン： 入力信号の約 95% を表示します。 オフ： 入力信号のほぼ 100% を表示します。 自動： 画像表示エリアを自動設定します。
シャープネス	文字や画像のキレを調節します。[+]キーを押すとシャープになり、[-]キーを押すとソフトになります。 <b>お知らせ</b> ● 調節によっては線が二重になる場合があります。この場合は「シャープネス」の設定を下げてください。
ビデオレンジ	
White	表示する階調範囲を設定し、映像の白飛びや黒浮きを改善します。
Black	
Signal format	HDMI/DisplayPort の色差信号のフォーマットを選択します。
<b>入力設定</b>	
入力信号検出	入力信号があるコネクタを自動的に選択する機能です。 First： 最初に入力されたビデオ信号を自動的に選択します。 Last： 最初に入力されたビデオ信号を自動的に選択します。さらに、表示中のコネクタとは別のコネクタから新たにビデオ信号が入力された場合、新たに入力されたビデオ信号に自動的に切り替えます。 オフ： ビデオ信号の自動切替はおこないません。 <b>お知らせ</b> ● DisplayPort 入力コネクタと USB-C ポート間では「Last」設定による自動切り替えはおこなわれません。「DisplayPort 設定」の「入力選択」で表示したいビデオ信号を選択してください。
ブランクシグナルスキップ	[Input] キーを押して入力信号を切り替えるときに、入力信号があるものだけを表示します。
DDC/CI	DisplayPort などの映像信号ケーブルを使用し、本機とコンピューター間の設定情報のやり取りを許可するかを選択します。

<b>詳細信号設定</b>	
ビットレート DP1 DisplayPort	各入力コネクタの伝送速度を設定します。通常はDisplayPort設定の設定内容に応じて自動的に選択されます。
ビットレート DP1 USB-C	画面が乱れたりするときのみ対象の入力ポートの設定を変更してください。
ビットレート DP2 mDP	<b>お知らせ</b> ● RBRもしくはHBRを選択した場合、MST(マルチストリーム)機能は使用できません。
イコライザー DP1 USB-C	劣化した信号を補正し、表示を安定させる設定です。画面がちらついたり画像が表示されないなどの場合に設定を変更してください。
<b>音声</b>	
<b>音声設定</b>	
入力ソース	出力する音声を「アクティブ画面」、「画面1」、「画面2」から選択します。
音量	音量を調節します。
ミュートオン	
音声遅延	画像と音声のタイミングを合わせるため、音声を遅らせます。
<b>USB</b>	
<b>USB ハブ入力選択</b>	
DP1	入力コネクタと同時に、USBハブのアップストリームポートを切り替えます。いずれか1つのUSBアップストリームポートのみにコンピューターが接続されている場合は、本設定に関係なく、接続されているポートが選択されます。現在使用しているUSBアップストリームポートを、一時的に切り替えることもできます。(「カスタム設定」-「ホットキー」)(→P26)
DP2(mDP)	
HDMI1	
HDMI2	
<b>USB-C 設定</b>	
パワーデリバリー電力	USB-C機器に供給する電力を設定します。通常は20Wを選択してください。充電が始まらない場合や、動作が不安定な場合に他の設定をお試しください。 <b>お知らせ</b> ● 15W/20W/30Wは本機が供給する最大電力を表します。接続した機器の仕様や状態により、最大電力を下回ることがあります。 ● 15W選択時は供給電圧が5Vに固定されます。 ● 30W選択時は本機の最大輝度が低下することがあります。
USB-C情報	USB-Cポートの動作状態を表示します。
<b>マルチ画面</b>	
<b>マルチ画面設定</b>	
マルチ画面	「オン」を選択するとマルチピクチャー機能を有効にし、複数信号を同時に表示します。
マルチ画面モード	「PiP」は画面を重ねて表示します。「PbP」は並べて表示します。
アクティブ画面	マルチピクチャー機能が有効な場合に、OSD操作などの設定を反映する画面を選択します。
サイドパネル色	4：3画面を表示した場合など、両側の画像のない部分の明るさを調節します。
<b>位置 / サイズ</b>	
位置	アクティブ画面に設定した画面の表示位置を調節します。
サイズ	アクティブ画面に設定した画面のサイズを調節します。
<b>タイルマトリクス</b>	
タイルマトリクス	本製品を複数台使ってマルチスクリーンをおこなう場合に、映像を拡大して表示する機能です。9台までのディスプレイに単一画面を拡大して表示できます。 水平モニター数と垂直モニター数を設定後、それぞれのディスプレイの設置位置を指定してください。「Tile comp」を「オン」にすると、ディスプレイのつなぎ目がより自然に見えるように表示方法を変更します。「Enable」で「する」を選択した場合、タイルマトリクスの各設定を適用します。

システム	
言語選択	
[言語選択]	OSDに使用する言語を選択します。
OSD	
OSD時間	操作後、OSDメニューが消えるまでの時間を設定します。
OSD位置	OSDメニューの表示位置を調節します。
OSD透過	OSDメニューを半透明にし、背景画像を透過します。
OSD方向	OSDの表示方向を設定します。 ランドスケープ： OSDを横方向に表示します。 ポートレート： OSDを縦方向に表示します。 自動： ディスプレイの設置状態に合わせて自動設定します。
OSDラストメモリー	「オン」に設定すると、前回設定した項目を選択した状態でOSDメニューを開きます。
インフォメーション OSD	入力切り替えや、解像度などが変更された場合に、画面上部に映像入力コネクタや解像度などの情報を表示します。「オフ」を選択した場合はビデオ信号がないことをお知らせするメッセージは表示されません。
起動ロゴ	本機の電源を入れた時にロゴを表示します。
指近接検出	指がキーに近づいたときに自動的にキーガイドを表示し、一度目のタッチで機能を選択できます。「オフ」を選択したときは、いずれかのキーを押すとキーガイドを表示します。 <b>お知らせ</b> ● 電源がオフの場合は機能しません。
パワーマネジメント	
クイックリカバリー	パワーセーブモード(→P19)中の動作を設定します。消費電力を抑えたい場合は「オフ」を、パワーセーブモードからの復帰時間を優先したい場合は「オン」を選択します。
人感センサー	
人感センサー	人感センサーの動作を設定します。電力の削減や液晶パネルの負荷低減をおこなうことができます。 オフ： 人感センサー機能を使用しません。 オン： 人感センサーが離席を感知するとパワーセーブモードに移行します。席に戻ったことを感知すると自動的に復帰します。 Custom： 人感センサーが離席を感知したときの動作を設定できます。 <b>お知らせ</b> ● 人感センサーが離席を感知した場合、パワーセーブモードなどへの移行をお知らせする画面が表示されます。
センサー設定	人感センサーで離席を感知する感度を設定します。現在の感知状況を示す太いバーが、検出範囲を示す細いバーより右側にある場合に、離席を感知します。左右キー[ < ], [ > ]で感度を調節してください。 <b>お知らせ</b> ● OSD画面が表示されている間は、人感センサー機能は動作しません。 ● 人感センサーは、画面から約1.5m以内の人の動きを感知します。 ● 感度は、服の色や着座位置によって変化する場合があります。
開始時間	人感センサーが離席を感知してからパワーセーブモードなどに移行するまでの時間(秒)を設定します。
バックライト	人感センサー設定でCustomを選択したときのバックライトの動作を設定します。
音量	人感センサー設定でCustomを選択したときの音量の動作を設定します。

<b>ネットワーク設定</b>	
IP設定	ネットワーク内のDHCPサーバーにより本機のIPアドレスを自動設定する場合は「自動」を選択します。手動設定する場合は「手動」を選択し、下の「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。「IP設定」を「自動」にしている場合のIPアドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。
IPアドレス	本機のIPアドレスを設定または表示します。他の機器と重複しないよう設定してください。
サブネットマスク	ネットワークのサブネットマスクを設定または表示します。
デフォルトゲートウェイ	ネットワークのデフォルトゲートウェイを設定または表示します。設定を削除する場合は [0.0.0.0] を設定します。
<b>オールリセット</b>	
オールリセット	すべての設定を工場出荷の状態に戻します。
<b>カスタム設定</b>	
<b>ホットキー</b>	
Key1-8	よく使うピクチャーモードやOSD機能などを、[Menu]キーを除く7つのキーに割り当てることができます。電源キーを無効にするなど、特定の機能を制限することもできます。 タッチキーには以下の項目を割り当てることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクチャーモード</li> <li>・ビデオ入力コネクタ</li> <li>・一部のOSDメニューへのショートカット</li> <li>・その他機能1：USBハブのアップストリームの切り替えや、輝度、音量などの設定画面を割り当てます。</li> <li>・その他機能2：エミュレーションやミュートのオフ/オンなどの切り替え操作機能を割り当てます。</li> </ul>
<b>入力名称</b>	
入力名称	表示している入力コネクタの名称を変更できます。アルファベット、数字、一部の記号が使えます。最大文字数は14文字です。
<b>ピクチャーモード使用数</b>	
ピクチャーモード使用数	使用する「ピクチャーモード」の数を設定します。1を選択するとピクチャーモードの切り替えを禁止できます。
<b>LED設定</b>	
LEDブライツネス	電源ランプの明るさを調節します。
LEDカラー	電源ランプの色を設定します。「Custom」設定では特定の条件により色を変えることができます。 Custom1：アクティブ画面で選択しているピクチャーモードにより色を変えます。 Custom2：アクティブ画面で選択しているピクチャーモードの状態(プリセットのまま、エミュレーション オン、その他編集済)により色を変えます。 Custom3：アクティブ画面で選択している入力コネクタの種類により色を変えます。
<b>OSDロック</b>	
OSDロック	OSDの操作を制限する機能です。「Enable」を選択してOSDを消すと、その後のOSD操作を禁止します。キー1とキー3を同時に長押しすることで解除できます。「Custom」を設定すると、ホットキーに割り当てた機能のみ使用することができます。



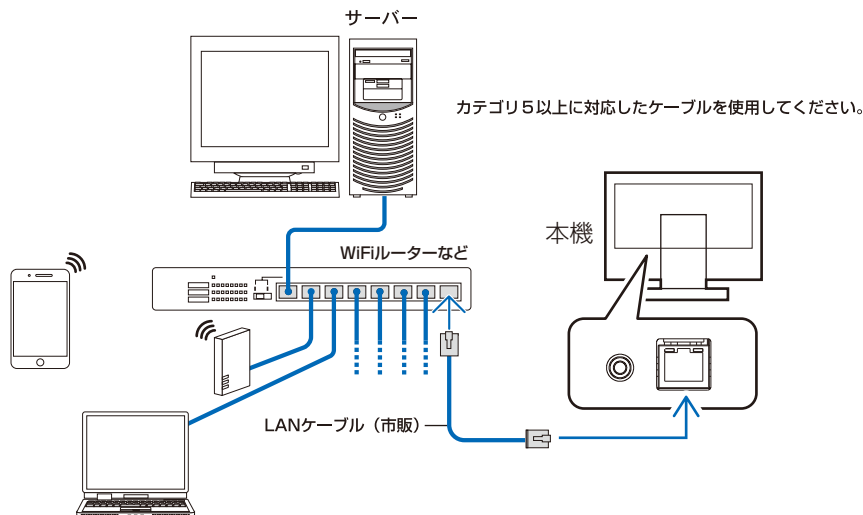
ツール	
エリアマーカー	
エリアマーカー	<p>エリアマーカーをフレームまたはラインで表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ラインで表示した場合、長時間表示すると液晶パネルに残像が残ることがあります。フレームで表示すると残像の発生を抑えることができます。</li> </ul>
サイズ	エリアマーカーの大きさを設定します。
アスペクト	エリアマーカーのアスペクト比を設定します。
色	エリアマーカーのラインの色またはフレームの明るさを設定します。
インポート/エクスポート	
インポート/ エクスポート	<p>モニターの設定内容をUSBメモリーにインポートまたはエクスポートします。(→P32)</p> <p>エクスポートの対象範囲を「現在のピクチャーモード」、「すべてのピクチャーモード」、「すべてのモニター設定」から選択できます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● インポート機能は現在の設定されている内容を上書きします。事前にエクスポートをおこなうことで、現在の設定をバックアップできます。</li> <li>● キャリブレーションの履歴設定など、機種ごとに異なる情報はエクスポートされません。</li> <li>● IPアドレスを手動設定している場合、重複にご注意ください。</li> </ul>
インフォメーション	
モニター情報	<p>モデル名、シリアルナンバー、入力信号などの情報を表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ビデオ遅延の数値は概算値です。</li> </ul>
SpectraView エンジン 状態	SpectraView エンジンによるフィードバック状態やキャリブレーションの状態を表示します。
USB 情報	USBハブのアップストリーム接続やUSB-Cポートの動作状態を表示します。
システム情報	<p>ファームウェアやSpectraView エンジンのバージョン、稼働積算時間、CO<sub>2</sub>削減量、CO<sub>2</sub>排出量、LANポートのMACアドレスを表示します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● CO<sub>2</sub>削減量は電源オン時およびパワーマネジメント機能動作時の積算した省エネ効果をCO<sub>2</sub>削減量(kg-CO<sub>2</sub>)で表示します。CO<sub>2</sub>排出量は計算によって求めた概算値であり、実測値とは異なります。またオプション機器を接続していない場合の計算値です。</li> </ul> <p>注：CO<sub>2</sub>削減量は、OECD(経済協力開発機構)2008年 Editionの世界標準CO<sub>2</sub>-電力量換算値に基づいて算出しています。</p>



# LAN コントロール

## LAN コントロール機能

本機をネットワークに接続することにより、対応アプリケーションを使用して本機の設定をネットワーク経由で確認、変更できます。また、ネットワークに接続したコンピューターやスマートフォンの Web ブラウザーから本機の OSD を操作できます。



### 使用前の準備

接続例を参考に、本機のLANポートに市販のLANケーブルを接続してください。  
本機にIPアドレスを設定してください(→P26)。

### コントロールソフトウェアを使用する

コントロールソフトウェアを使用して本機の各種設定内容の確認、変更や、キャリブレーションに関する情報などの確認をおこなうことができます。

対応アプリケーションを当社のホームページからダウンロードし、ネットワークに接続したコンピューターにインストールしてください。

### WebブラウザーによるOSD操作をおこなう(HTTPサーバー機能)

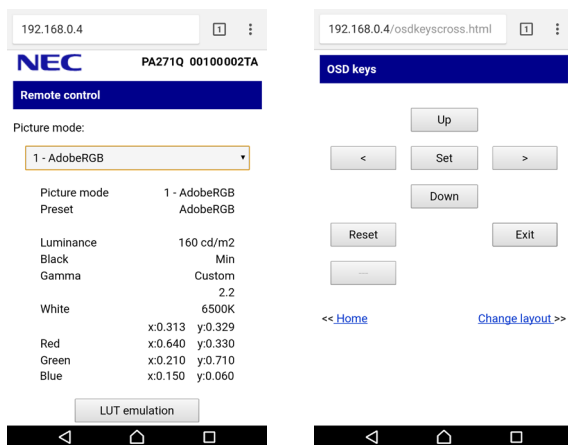
Web ブラウザーを使用して本機のピクチャーモードやビデオ入力の切り替えなどの操作をおこなうことができます。

ネットワークで接続されたスマートフォンやコンピューターなどで Web ブラウザーを起動し、以下の URL を入力してください。

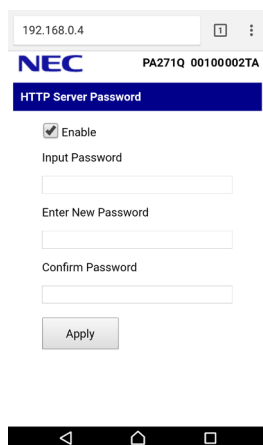
<http://<本機のIPアドレス>/index.html>

本機のタッチキーに代わり、Web ブラウザーから OSD の操作をおこなうこともできます。

ホットキーのカスタマイズ機能 (→P26) を使うと、Web ブラウザーで操作する機能を変更することができます。



HTTP Server Passwordを「Enable」に設定すると、ブラウザからのアクセスにパスワードを設定できます。パスワードには半角英数字、記号が使用できます。工場出荷時は「0000」が設定されています。User Nameは「PA271Q」です。



192.168.0.4

NEC PA271Q 00100002TA

HTTP Server Password

Enable

Input Password

Enter New Password

Confirm Password

Apply

### お知らせ

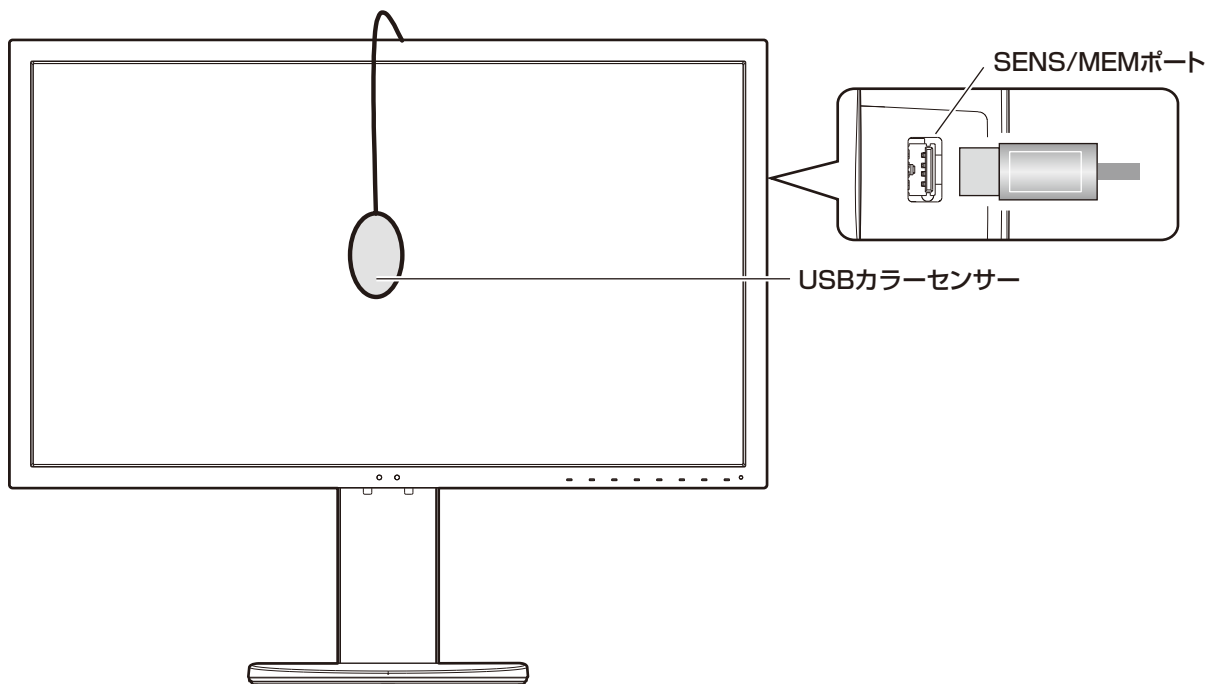
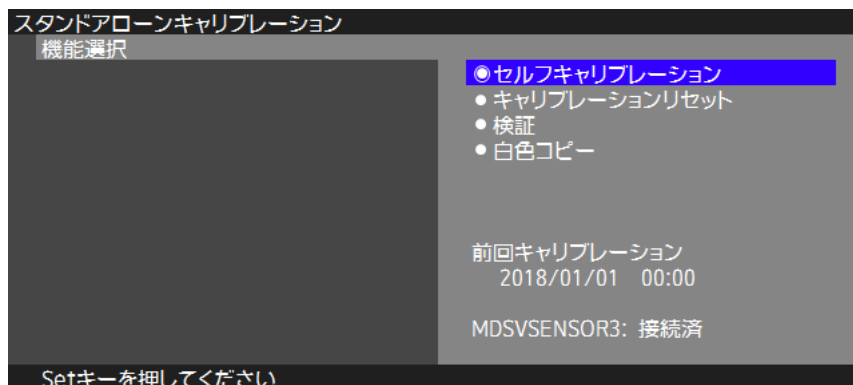
- 工場出荷時のIPアドレス取得の設定は「自動」です。リセット後もIPアドレスは自動的に取得されます。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
また続けてボタン操作をおこなうとディスプレイが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作をおこなってください。しばらく待っても応答が無い場合は、本機の主電源スイッチをオフ/オンしてください。
- HTTPサーバー機能は主要なWebブラウザでの動作検証をおこなっていますが、すべてのWebブラウザでの動作を保証するものではありません。
- HTTPサーバー機能の画面が表示されない場合は、Webブラウザの再起動や、表示画面の更新をお試しください。  
プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容を反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

# スタンドアロンキャリブレーション

## スタンドアロンキャリブレーション機能

コンピューターが接続されていない状態でも本機のキャリブレーションなどの操作をおこなうことができます。

OSDで「キャリブレーション(→P22)」を選択するか、本機のSENS/MEMポートに対応カラーセンサーを接続するとスタンドアロンキャリブレーションOSDが表示されます。



OSDから機能を選択し、OSDの指示に従い操作をおこなってください。

**セルフキャリブレーション：** 本機の内蔵カラーセンサーと工場出荷時に調整された光学データを、外部のカラーセンサーで校正する機能です。内蔵カラーセンサーによる値 (OSD表示値) をお手持ちのカラーセンサーの値に近づけることができます。また、液晶パネルの経年変化による色差も外部のカラーセンサーを基準として補正されます。

SENS/MEMポートに対応カラーセンサーが接続された場合は、本機が自動的に測定と設定をおこないます。OSDの指示に従い、対応カラーセンサーを画面中央に置いてください。

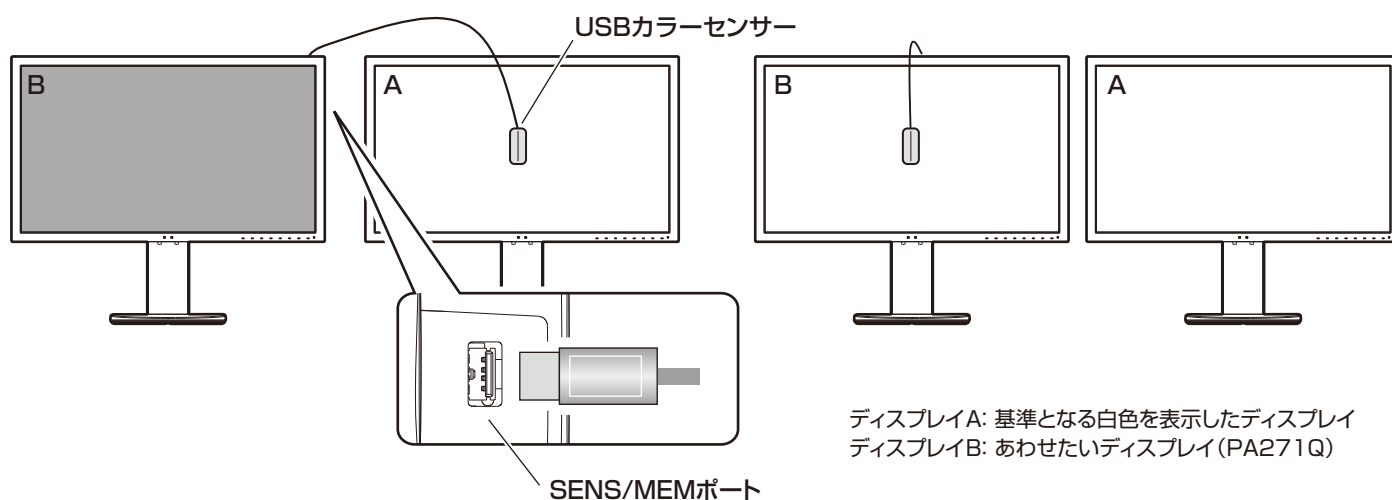
その他の外部カラーセンサーを使用する場合は、外部カラーセンサーの測定値をOSDに手動で入力して校正をおこないます。(マニュアルキャリブレーション機能)

内部の基準データが更新されるため、一度の操作ですべてのピクチャーモードが校正されます。ピクチャーモードやその設定値の変更毎に再度実行する必要はありません。

**キャリブレーションリセット：** セルフキャリブレーションによる校正結果を破棄し、実行前の状態に戻します。  
内部の基準データが更新されるため、ピクチャーモードやその設定毎に再実行する必要はありません。  
ピクチャーモードやその設定値は初期化されません。

**検証：** 対応カラーセンサーでカラーパッチの測定をおこない、キャリブレーションの状態を検証します。  
セルフキャリブレーションの実行後に続けておこなうこともできます。  
検証の結果はカラーパッチの平均色差(dE)で表示されます。この値が大きい場合、内蔵カラーセンサーによる値(OSD表示値)と外部カラーセンサーによる測定値の差が大きいことを意味します。  
一般的には3以内であれば問題なくお使いいただけますが、ご希望の値を超えている場合は再度セルフキャリブレーションをお試しください。

**白色コピー：** 他のディスプレイ(A)の表示色を基準として、本機(B)の表示色を近づける機能です。  
対応カラーセンサーで他ディスプレイの白色を測定し、輝度と白色点を現在のピクチャーモードに設定します。



### お知らせ

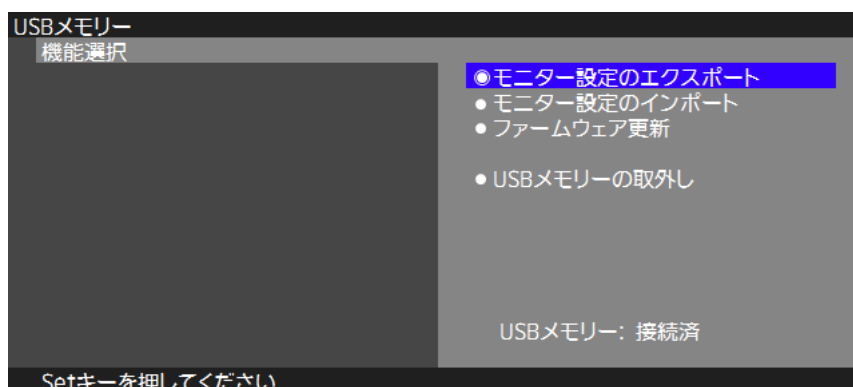
- SENS/MEMポートに接続する対応カラーセンサーは当社のMDSVSENSOR3です。
- 電源投入直後は本機のカラースタビライザー機能がひんぱんに動作しているため、最良の結果が得られないことがあります。
- セルフキャリブレーション機能と検証機能を実行した履歴は本機に保存され、対応アプリケーションにより読み出して管理することができます。  
履歴には時刻の登録が必要です。OSDの指示に従い、時刻の入力をおこなってください。一度時刻を設定をすると、主電源がオンの間は自動的にカウントされます。
- 白色コピーはディスプレイの特性のうち輝度と白色点のみを近づける機能です。より正確な色合わせにはMultiProfilerをご使用ください。  
MultiProfilerは当社のホームページからダウンロードできます。

# USB メモリーを使用したインポート / エクスポート、ファームウェア更新

## USB メモリーを使用したインポート / エクスポート、ファームウェア更新機能

SENS/MEM ポートに接続したUSBメモリーを使用して、ピクチャーモードやモニター設定のバックアップやコピーをおこなうことができます。また、本機のファームウェアの更新をおこなうことができます。

OSDで「インポート / エクスポート(→P27)」を選択するか、本機のSENS/MEMポートにUSBメモリーを接続するとUSBメモリーOSDが表示されます。



OSDから機能を選択し、OSDの指示に従い操作をおこなってください。

**モニター設定のエクスポート：** モニター設定のバックアップやコピーのため、本機の設定値をUSBメモリーに書き出します。3種類から、書き出したい設定を選択してください。

現在のピクチャーモード： 現在アクティブウィンドウで選択しているピクチャーモードの設定値

すべてのピクチャーモード： ピクチャーモードの設定値

すべてのモニター設定： 本機の全てのOSD設定を書き出します

書き出すファイルには、重複しないファイル名が自動的に設定されます。

**モニター設定のインポート：** エクスポート機能により書き出された設定ファイルを読み出し、OSD設定を上書きします。エクスポート時に選択した設定値の範囲のみ上書きされます。

USBメモリーのルートフォルダーにある設定ファイルが対象になります。

ルートフォルダーに置くことができる設定ファイルは15個以内です。

IPアドレスを手動で設定している場合、インポート後に重複しないようご注意ください。

**ファームウェア更新：** 本機のファームウェアを更新します。あらかじめUSBメモリーのルートフォルダーにファームウェアの更新データを保存してください。更新中は電源ランプが緑色に点滅します。完了すると自動的にディスプレイの電源が入れなおされます。復帰後、主電源スイッチをオフ/オンし再度電源を入れなおしてください。

**USBメモリーの取り外し：** USBメモリーを取り外す準備をおこない、OSDを閉じます。USBメモリーを取り外す前に必ず実行してください。

### お知らせ

- USBメモリーの対応フォーマットはFAT32です。市販されているすべてのUSB外部記憶装置の動作を保証するものではありません。
- インポート / エクスポート機能では、キャリブレーションの状態など機種に固有のデータの書き出しはおこなえません。そのため、書き出したファイルは別のPA271Qなどでインポートをおこなうことができます。  
インポート / エクスポート機能の最新の対象機種は当社ホームページでご案内します。
- エクスポートの実行には時刻の登録が必要です。OSDの指示に従い、時刻の入力をおこなってください。  
一度時刻を設定をすると、主電源がオンの間は自動的にカウントされます。
- ファームウェアの更新がある場合、当社のホームページでご案内します。

# 困ったとき

## 故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

### 表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが赤色に点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または修理受付／アフターサービス窓口にご相談ください。 ファームウェアの更新中に赤色が点滅した場合は、主電源を入れなおしてから再度更新を実行してください。	P37
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P9
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	P14
	電源ランプが青色に点灯している場合	信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。入力切替 (INPUT) キーを押して、入力コネクタを切り替えてください。	P8
		OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P20
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付／アフターサービス窓口にご相談ください。	P37
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「輝度」を調節してください。	P21
	電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合	● OSD画面が正常に表示されても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P12, P42
		電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。
信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P12	
変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので確認してください。		P12	
画面が表示されなくなった	接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので確認してください。	P12	
	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付／アフターサービス窓口にご相談ください。	P37
電源ランプが点灯しない場合	[LED ブライトネス] が0%の場合は電源ランプが点灯しませんので、確認してください。	P26	

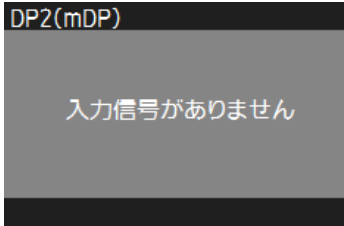
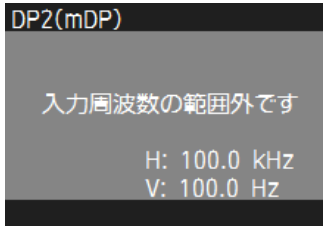
※：液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

## 表示がおかしいときは…

症状	原因と対処	参照
画面が暗い	「エコモード」を「オフ」に、「パワーデリバリー電力」を「15W」または「20W」にしてください。	P22, P24
	「輝度」を調節してください。	P21
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P7
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 「ユニフォミティ」を「5」に設定してください。	P22
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P41
画面の表示状態が変わっていく	「オートブライツネス」が「オン」に設定されている場合、室内の明るさや表示画面の内容により表示画面の明るさが自動的に調節されます。 ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P22
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。電源を切るか、変化する画面を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	P4
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P20
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P37
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「ピクチャーモード」でお好みの色に調節していただくか、または[ピクチャー]のリセットをおこなって工場出荷値に戻してください。	P20, P21
	● OSD画面が正常に表示され「ピクチャーモード」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P12, P42
	● [色覚エミュレーション]と[3D LUTエミュレーション]を「オフ」にしてください。	P21
	コンピューターに設定されたICCプロファイルがピクチャーモードと一致していることを確認してください。	P21
画面がざらつく(上記以外の場合)または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルをご使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。	P12
	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P20
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P37
	● HDMI入力を使用し、解像度3840×2160または4096×2160にて入力した際に映像が途切れる場合は、4K対応のHDMIケーブルをご使用ください。	P12
	● OSD画面が正常に表示されてもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P12, P42
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	



## 案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に「入力信号がありません」が表示された* <sup>1</sup>	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P12
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	P12
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	P15
	コンピューターのパワーマネージメント機能が動作している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P19
画面に「入力周波数の範囲外です」が表示された* <sup>2</sup>	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P42
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P42
	画面に「内部温度が高すぎます」が表示された	周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。	故障の原因となりますので、電源を切ってください。

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

## その他

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない/ 固定されてしまう	うまく信号入出力ができないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。
USB ダウンストリームポートに接続しているUSB対応周辺機器が認識されない。正常に動作しない	Windows® をお使いの場合： USB対応周辺機器のデバイスドライバーが正常に組み込まれていない(ドライバーインストールが必要なUSB対応周辺機器のみ)	USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。デバイスマネージャーで「不明なデバイス」と表示される場合は、「不明なデバイス」をデバイスマネージャー上で削除し、USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。
	「USBハブ入力選択」が正しく設定されていない。	「USBハブ入力選択」を正しく設定してください。
	SENS/MEMポートにUSB対応周辺機器を接続している可能性があります。	USBハブのダウンストリームポートに機器が接続されていることを確認してください。SENS/MEMポートはMDSVSENSOR3またはUSBメモリーのみに対応します。
USBポートを多段接続(複数台の連結接続)した後に、USB対応周辺機器を接続すると、USB対応周辺機器が正常に動作しない	USB対応周辺機器が、USBポートの多段接続に対応していない。	USB対応周辺機器をコンピューターに近いUSBポートに接続してください。
映像は出るが、スピーカーから音が出ない	「ミュートオン」状態になっていませんか。本体の[MUTE]キーをタッチして、音が出るかどうかを確認してください。	
	音量が最小になっていませんか。音量を調節してください。	
	接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。	
	ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーから音は出ません。ヘッドホンを外してください。	
	マルチピクチャーを設定している場合、出力したい音声がある画面を選択する必要があります。「入カソース」で出力したい音声がある画面を選択してください。(→P24)	
LANで制御できない	LANケーブル(CAT.5以上)が正しく接続されているかを確認してください。	
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。(→P28)	
USBで制御できない	本機とコンピューターがUSBケーブルで正しく接続されているかを確認してください。	
USB Type-C機器を使用するとき	画面に「USB-Cケーブルを外してください」画面が出た	異常な電圧または電流が検出された場合に表示されます。USB Type-Cケーブルを速やかに抜いてください。 当社ホームページのUSB Type-C機器とケーブルの動作確認情報を確認してください。
	画面に何も映らない	接続したUSB Type-C機器がDisplayPort Alt Mode on USB Type-C規格に対応しているか確認してください。 USB Type-CケーブルがUSB3.1 Gen1もしくはGen2に対応しているか確認してください。 当社Webサイトの検証済機器、ケーブル情報を参照してください。
	充電が始まらない、充電が不安定	接続したUSB Type-C機器がUSB Power Delivery規格に対応しているか確認してください。 USB Type-CケーブルがUSB Power Deliveryの認証を取得しているか確認してください。 当社Webサイトの検証済機器、ケーブル情報を参照してください。

## 本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報)

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「ディスプレイのリサイクル」について

<https://www.nec-display.com/jp/environment/recycle/display.html>

### 法人のお客様(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルシステムを構築し、積極的に資源の有効利用につとめています。

回収・リサイクルのお見積り・お申し込みについては上記 Web サイトをご参照ください。

### 個人のお客様

“PCリサイクルマーク”のシールが貼り付けられている当社製品は、ご家庭からの排出時、新たな料金負担を頂くことなく、当社が責任を持って回収・リサイクルいたします。

- ※ “PCリサイクルマーク”のない製品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きます。
- ※ 本機をご購入いただいた個人のお客様には、お申込みいただくことにより、無償で“PCリサイクルマーク”を提供いたします。お申し込み方法は上記 Web サイトをご参照ください。



リサイクル

PCリサイクルマーク

## 保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。  
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口へご相談ください。
- 部署名、電話番号、受付時間などについては変更になることがありますのでご了承願います。  
最新情報につきましては、弊社ホームページにてご確認ください。

### 修理受付/アフターサービス窓口

個人ユーザー様の窓口	法人ユーザー様の窓口
121 コンタクトセンター	NEC ビジネス PC 修理受付センター
<b>フリーコール：0120-977-121</b> 携帯電話、PHS などフリーコールをご利用できないお客様は こちらの番号へおかけください。 03-6670-6000 (通話料お客様負担)	<b>フリーコール：0120-00-8283</b> 携帯電話をご利用のお客様は こちらの番号へおかけください。 0570-064-211 (通話料お客様負担)
最新の情報については、 <a href="http://121ware.com/121cc/">http://121ware.com/121cc/</a> をご覧ください。	<b>受付時間：月～金 9:00～18:00</b> 休日は、土曜・日曜・祝日および年末年始等の 所定休日とさせていただきますので、ご了承願います。

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- お名前
- 型名：LCD-PA271Q シリーズ
- ご住所（付近の目標など）
- 故障の症状、状況など(できるだけ詳しく)
- 電話番号
- 購入年月日または使用年数
- 品名：マルチシンク液晶ディスプレイ
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）

# 付録

## 市販のアームを取り付けるとき

本機には VESA 規格に準拠した 100mm × 100mm ピッチ市販のアームを取り付けることができます。

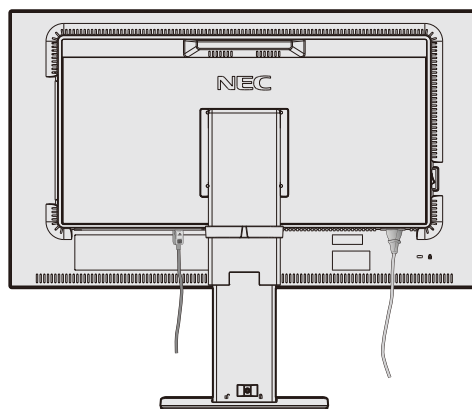
### ⚠ 注意

- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。  
(本機のディスプレイ部の質量は約 6.9kg です。)

アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

## スタンドの取り外し方

### 1 ケーブルホルダーからケーブルを取り出す



### ⚠ 注意

- ケーブルホルダーは取り外せません。無理に外そうとしないでください。けがの原因となることがあります。

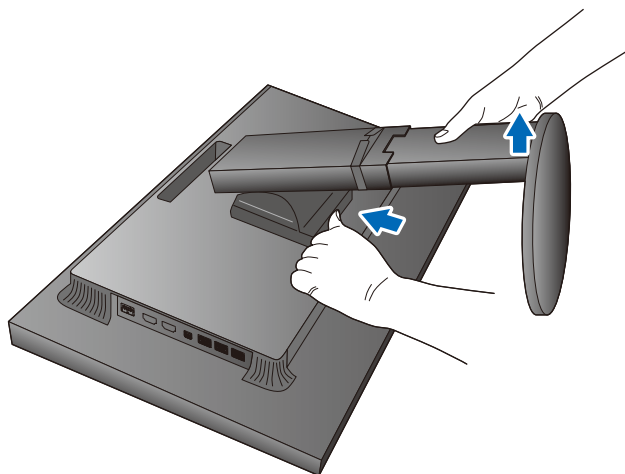
### 2 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、電源コード、信号ケーブルを取り外す

### 3 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置く

### お願い

- キー類をテーブルなどに直接あてないように注意してください。

### 4 図のようにレバーを押しながらスタンドを持ち上げて取り外す



### お願い

- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。
- スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

## アームの取り付け方

### 1 付属のネジを使って、下記仕様のアームを取り付ける

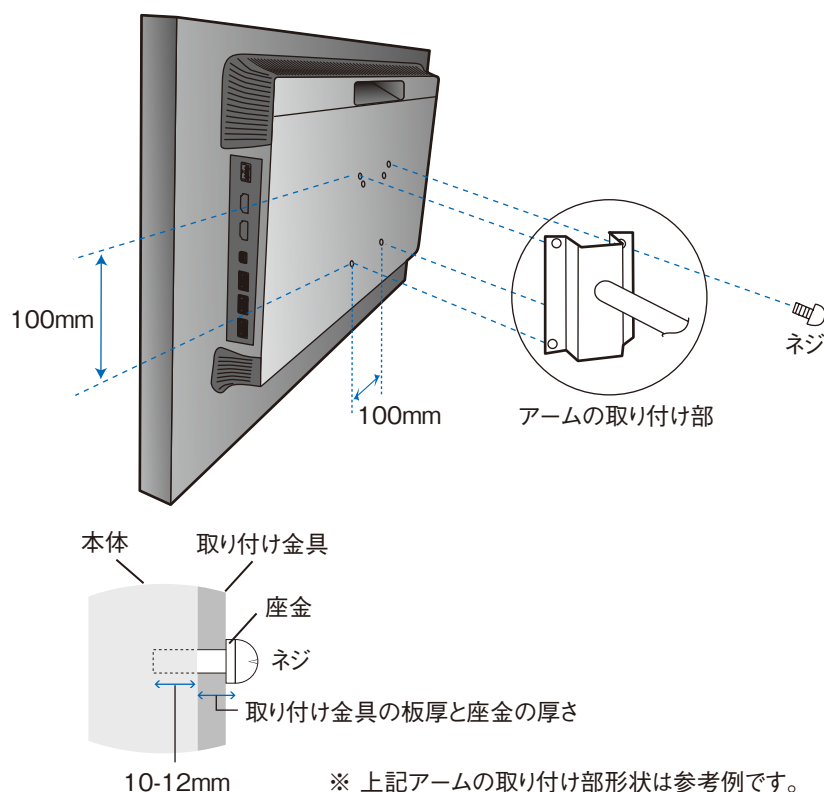
取り付け可能アーム：

取り付け部厚み 2.0mm～3.2mm

VESA規格準拠

#### ⚠ 注意

- ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。(ただし、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98～137N・cmが適切な締め付トルクです。)
- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。万一事故が発生した場合でも、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- アームを取り付ける際は、必ず付属のネジまたはM4ネジ(長さは取り付け金具の板厚と座金の厚さ+10～12mm)をお使いください。それ以外のネジを使用した場合は故障の原因となることがあります。



## 用語解説

本書で使用している専門的な用語や本機の特徴に関する説明です。

## カラーマネジメント

### SpectraView® エンジン

本機に搭載されたNEC独自の画像処理技術です。Adobe® RGBやsRGBなどの正確な色再現、ICCプロファイルと3次元ルックアップテーブルを使用した印刷出力のレビュー機能など、さまざまなカラーマネジメント機能を備えています。

### ピクチャーモード

最大10個の画質設定を記憶し、すばやく切り替えることができる機能です。sRGBなど代表的な色空間を呼び出すこともできます(プリセット機能)。

### MultiProfiler®

輝度、ガンマの設定や、Adobe® RGBやsRGBなど色空間の設定をおこなうことができるソフトウェアです。SpectraViewエンジンのカラーマネージメント機能を使用するので、外部カラーセンサーは必要ありません。また、他のディスプレイやプリンターとの色合わせは、既存のカラープロファイルを使用したエミュレーションをおこなうことができます。当社のウェブサイトからダウンロードできます。

## ユニフォミティ

一般的に、明るさや色などの画面内の均一性は個体により差があります(ムラ特性)。このため画面中央を測定するキャリブレーションをおこなっても、画面周辺部まで同等の色を表示するのは困難でした。ユニフォミティ機能は複数の3次元ルックアップテーブルを組み合わせて補正し、画面全体を均一な画質の作業領域としてご利用いただける機能です。

## 広視野角技術

斜め方向から見ても色や輝度の変化が少ない、IPS液晶パネルを採用しています。複数の人がそれぞれ違った角度からディスプレイを見ても、同等の画質で画面が確認できます。暗い環境で気になりやすい暗部色調の光漏れも抑えています。

## 10bitカラー対応

搭載している入力端子は10bit階調の映像信号に対応していますので、約10億7,374万色で表示できます。



## スタンドアロンキャリブレーション

コンピューターに接続していなくても、本機の表示色を外部カラーセンサーでキャリブレーションできる機能です。スタンドアロンキャリブレーションには、セルフキャリブレーション、セルフキャリブレーションリセット、検証、白色点コピーの機能があります。各機能については「スタンドアロンキャリブレーション」(→P30)を参照してください。

## 色覚エミュレーション

異なる色覚特性における見え方を擬似的に表現し、判別しづらい色の組合せを確認する機能です。本機はP型、D型、T型の色覚特性とJISX8341規格などコントラスト確認用のGrayscaleに対応しています。

参照：NPO法人 カラーユニバーサルデザイン機構

<http://www.cudo.jp/>

色見え方、感じ方には個人差があり、全ての色弱者<sup>\*1</sup>が同じように見えるとは限りません。

色覚エミュレーションは、色弱者<sup>\*1</sup>の色の見分けにくさを体験するためのものであり、そのように見えているわけではありません。P型D型T型の強度の色覚についての再現であり、弱度の場合には一般色覚とほとんど差が無い方もいます。

※1 色覚異常・色盲・色弱・色覚障害・色覚特性とも称されます。ここではCUDOの推奨する呼称を採用しています。

## 接続性

### USB Type-C (USB-C)

USB-Cケーブルの接続だけで映像信号、音声信号、電源供給、USBハブ機能を同時に利用できます。

### DisplayPort/HDMI

コンピューターやAV機器など幅広い機器との接続に対応し、映像信号と音声信号をデジタル伝送します。

### マルチ画面

2画面を並べて表示 (Picture by Picture)、または親画面に子画面を重ねて表示 (Picture in Picture) することができます。この機能を使用して2つの入力信号をそれぞれの画面に表示できるほか、1つの入力信号を異なる画質設定で表示することもできます。

例：撮影画像と印刷イメージなど、2つの画面を比較しながら効率的に作業できます。

### USB3.1ハブ

映像信号の入力切替に合わせて複数のアップストリーム (USB1/USB2/USB-C) を切り替えるUSBハブ機能により、キーボードやマウスなど3つのUSB機器を最大3台のパソコンやスマートフォンで使用できます。

また、USB3.1 Gen1対応によりデータ転送速度を最大5Gbit/秒に向上しました。

## カスタマイズ

### ホットキー

指を近づけると表示されるキーガイドに、使用頻度が高い機能を割り当てることができます。ピクチャーモードや入力端子の切り替えなどをワンタッチでおこなうことができます。

### LEDカラー

選択している入力端子やピクチャーモードごとに、電源ランプの色を設定できる機能です。現在の使用状態を電源ランプの色で確認できます。

### エリアマーカー

映像製作時などに便利な、異なるアスペクト比とセーフエリアを示すエリアマーカーを表示する機能です。

## 管理

### LAN機能

ネットワークに接続したコンピューターやスマートフォンのウェブブラウザから、ホットキーやOSDを操作できます。専用アプリケーションによる複数のディスプレイの集中管理にも対応します。

### インポート/エクスポート

SENS/MEMポートに接続したUSBメモリーにピクチャーモードやディスプレイの設定をバックアップしたり、別のディスプレイから設定をコピーできます。

## エルゴノミクス

### オートブライトネス

周囲の明るさを感知して画面の明るさを自動的に調節し、目の疲れを少なくする機能です。

### エルゴノミクススタンド

作業スタイルや使用環境に応じて、画面を見やすい位置に調節できます。「高さ調節機能」、画面の向きを左右に回転させる「スイベル機能」、画面を90°回転し縦型表示する「ピボット機能」を搭載しています。市販のアームを取り付ける時も、クイックリリースレバーによりスタンドを簡単に取り外すことができます。

## 省電力

### 人感センサー

使用者の離席を感知すると自動的にパワーセーブモードに移行し、無駄な電力消費を抑える機能です。

### パワーマネージメント

コンピューターを使用しないとき、本機の電源を入れた状態でも消費電力を減少させる機能です。消費電力は接続した機器やOSDの設定等の状況に応じて変わります。現在の状態は電源ランプで確認できます。

# 仕様

型名	LCD-PA271Q			
サイズ(表示サイズ)	27.0型(68.5cm)			
有効表示領域	596.7 × 335.7mm			
表示画素数	2560 × 1440			
画素ピッチ	0.233mm			
表示色	約10億7374万色 DisplayPort / HDMI 10bit入力時			
視野角(標準値) <sup>※1</sup>	左右178°、上下178°			
輝度(標準値)	350cd/m <sup>2</sup>			
コントラスト比(標準値)	1500 : 1			
応答速度	8ms <sup>※2</sup>			
走査周波数	水平周波数	15 ~ 135kHz		
	垂直周波数	24 ~ 85Hz		
推奨解像度	2560 × 1440、60Hz			
入力端子	DisplayPort	DisplayPortコネクタ	デジタルRGB信号	DisplayPort規格 Ver1.1a、1.2準拠 HDCP 1.3
		USB-Cポート	デジタルRGB信号	
		Mini-DisplayPortコネクタ	デジタルRGB信号	DisplayPort規格 Ver1.1a準拠 HDCP 1.3
	HDMI	HDMIコネクタ	デジタルRGB信号	HDMI規格準拠 HDCP1.4対応
デジタル色差信号				
音声出力	内蔵スピーカー：1W + 1W(ステレオ)			
制御信号	LANポート	RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX		
	SENS/MEMポート	USBカラーセンサー、USBメモリー用		
USBポート	USB3.1 Gen1ポート：ダウンストリーム3個、アップストリーム3個(内1個はUSB-Cポート)			
USBポート供給電源	ダウンストリームポート 5V、900mA(最大) USB-Cポート 30W(最大)			
使用環境条件	温度	5 ~ 35℃		
	湿度	20 ~ 80%(結露のないこと)		
	高度	0 ~ 5,000m		
保管環境条件	温度	- 20 ~ 60℃		
	湿度	10 ~ 85%(結露のないこと)		
電源	電源入力	AC100V 50/60Hz		
	消費電力	標準(最大輝度時)	60W(USB接続時：110W)	
		パワーセーブ時	2W	
	電源入力コネクタ	3P IECタイプ		
質量	約9.7kg(スタンドなし約6.9kg)			
チルト角度/スイーベル角度/ピボット角度	上30°、下5° / 340° / 90°			
外形寸法	<p>寸法:mm</p>			

※1 視野角：白と黒のコントラスト比が10以上で表示できる角度を示します。

※2 特定階調レベル間(32、64、96、128、160、192、224)の各応答速度の平均値です。



## 代表プリセットタイミング

解像度		垂直走査周波数	スキャン方式	備考
水平	垂直			
640	× 480	60/67/72/75Hz	p	
720	× 400	70Hz	p	
720	× 480	60Hz	p	
720	× 480	60Hz	i	HDMIのみ
720	× 576	50Hz	p	
720	× 576	50Hz	i	HDMIのみ
800	× 600	56/60/72/75Hz	p	SVGA
1024	× 768	60/70/75Hz	p	XGA
1280	× 720	24/25/30/50/60Hz	p	720p
1280	× 1024	60/75Hz	p	SXGA
1280	× 1440	60Hz	p	マルチピクチャー用
1440	× 900	60Hz	p	
1600	× 1200	60Hz	p	UXGA
1920	× 1080	24/25/30/50/60Hz	p	1080p
1920	× 1080	50/60Hz	i	1080i、HDMIのみ
2560	× 1440	60Hz	p	推奨信号タイミング

p：プログレッシブ、i：インターレース